

Euglena Group

# 2024年12月期通期決算説明 および今後の展望

株式会社ユーグレナ  
東証プライム市場（証券コード：2931）

2025.02.14

# エグゼクティブサマリー

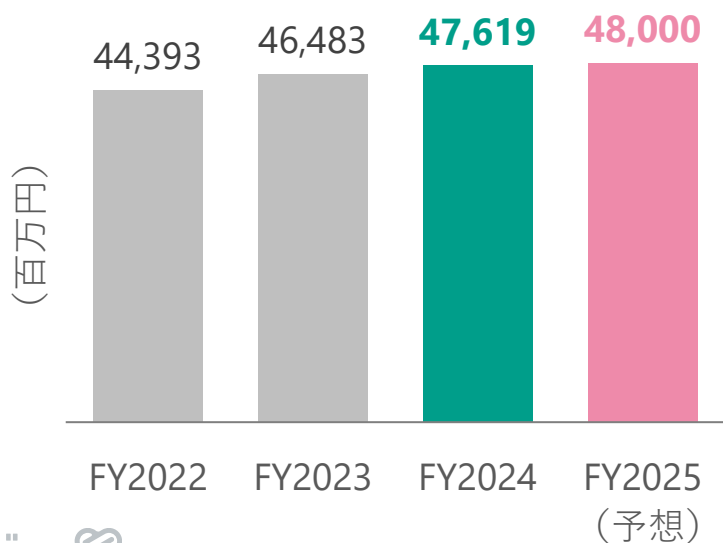
## 2024年度進捗

- 7事業年度ぶりの通期営業黒字を達成
  - 期初想定よりも1年前倒しで黒字転換
  - 売上高・調整後EBITDAも過去最高値を更新
- バイオ燃料商業プラント建設・運営の合併会社への5%出資が完了

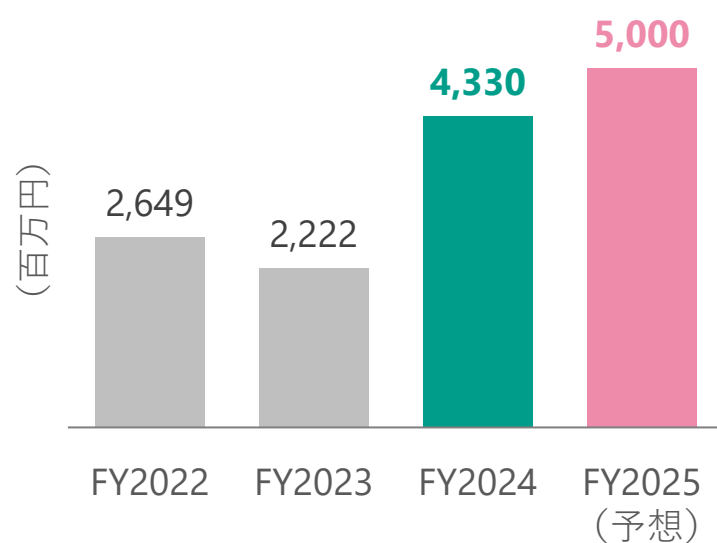
## 2025年度目標

- 調整後EBITDA50億円・営業利益12億円へ拡大
  - 黒字定着に向けて、希望退職者の募集も実施
  - 売上高予想は480億円、事業再編を優先
- マレーシア合併会社への15%出資の早期実現
  - 追加資金は負債性調達で確保する方針

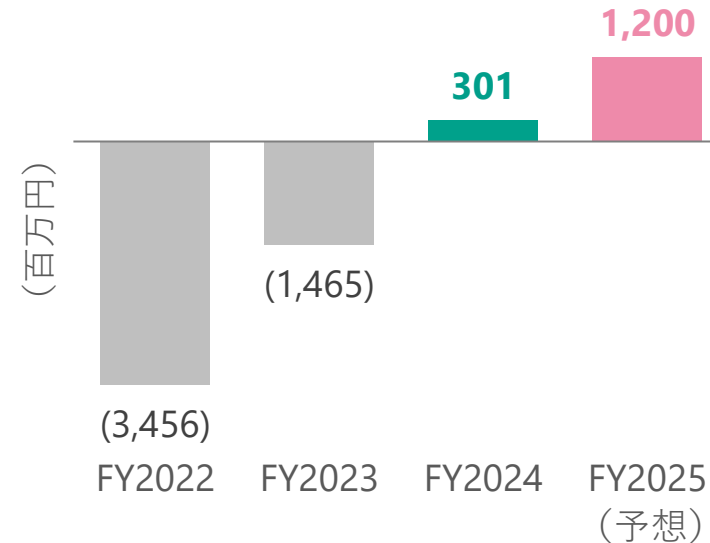
### 売上高



### 調整後EBITDA



### 営業損益



# キートピック - 2024年度進捗及び2025年度以降

## 2024年度進捗

## 2025年度重点領域

バイオ燃料

### ①原料調達/生産

### ②製品調達/製造

### ③販売

廃食油

パートナー開拓  
トレーディング拡大



自社品

実証プラント稼働終了  
商業プラント  
5%出資完了



HVO

国内継続供給先の拡大



藻油

高密度培養の実証試験  
マレーシアでの  
共同研究開始



他社品

SAF/HVOの  
輸入網開拓



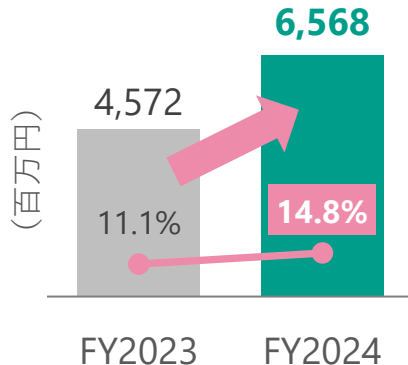
SAF

羽田空港での  
供給に向けた  
連携



### ① 収益構造の筋肉質化

調整後EBITDA/マージン  
の大幅改善



### ② 成長ブランドの育成

「CONC」が新たな  
成長ブランドとして台頭



### ③ メーカー機能の強化

素材を活かした  
コラボ商品の拡大



サティス製薬の  
グループ参画



- 商業プラントへの15%出資の早期実現
- 廃食油調達のためのパートナー開拓
- 国内継続供給先の開拓
- タンク培養を軸としたスケールアップ実証の着手

- 希望退職者の募集による不採算事業の縮小・撤退
- マイクロニードル市場の開拓
- 機能性を軸とした商品開発
- サティス製薬の連携強化
- 海外展開

ヘルスケア

# キートピック - 希望退職者の募集

## 募集人数は50名程度、年間約3.5億円程度の固定費削減を見込む

実証プラントの稼働終了、新規採用の抑制と自然退職で、2024年中に人員数は41名減少  
黒字体質の定着に向けて、事業ポートフォリオを見直すとともに約190名規模の組織へのスリム化を目指す

### 希望退職者の募集の概要

対象会社： 株式会社ユーグレナ

対象者： 全従業員（所定の要件を満たさない一部従業員を除く）

募集人数： **50名程度**

募集期間： 2025年2月3日～2025年2月28日

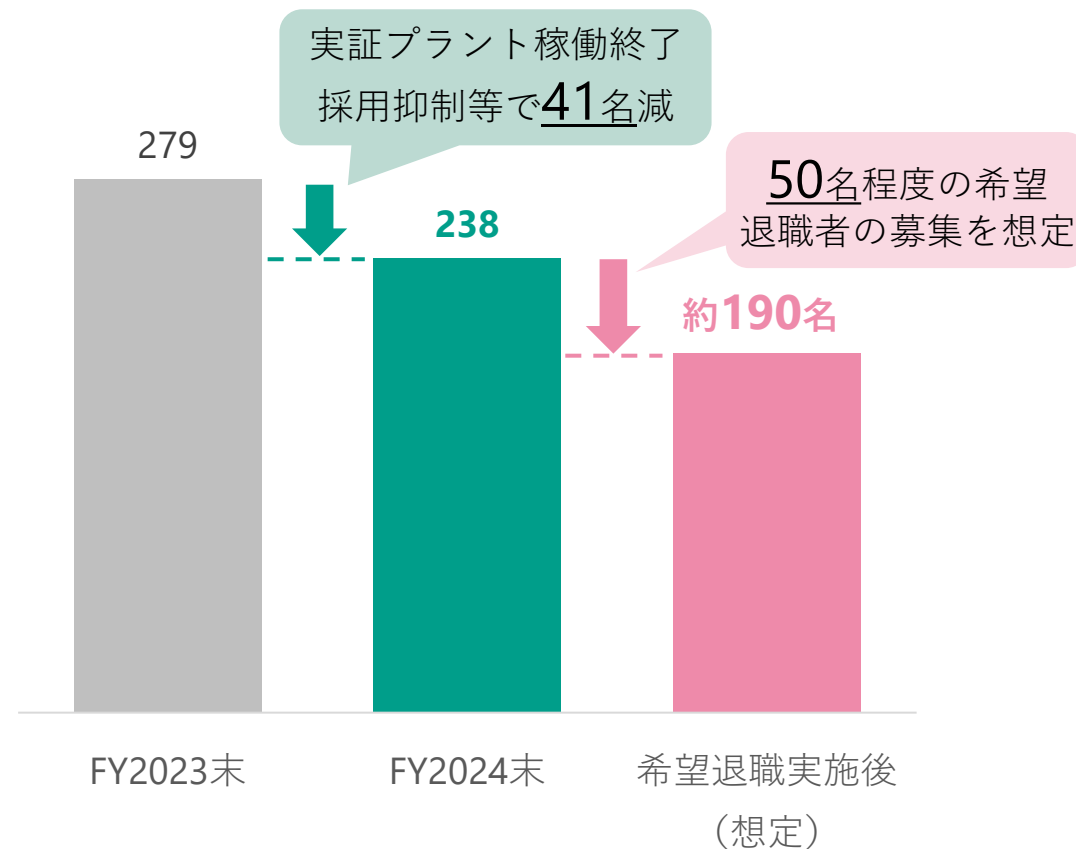
退職日： 2025年3月31日（原則）

優遇措置：

- **特別退職金**の支給
- 希望者に対する再就職支援会社を通じた**再就職支援**

損益影響： 特別退職金等の費用として**約2.5億円**の特別損失を2025年度Q1に計上予定

### ユーグレナ単体<sup>\*1</sup>の人員数推移



# 目次

1. 業績サマリー	6
2. バイオ燃料事業	14
3. ヘルスケア事業	21
4. その他事業	31
5. 研究開発	37
6. 中期展望	41
7. 補足資料	44

# 業績サマリー

# 中期経営方針

期初に掲げた3つの方針のうち、「黒字体質への転換」を集中的に推進  
2025年度は、黒字体質定着を更に進めつつ、「原点回帰」「バイオマスの5F」にも着手

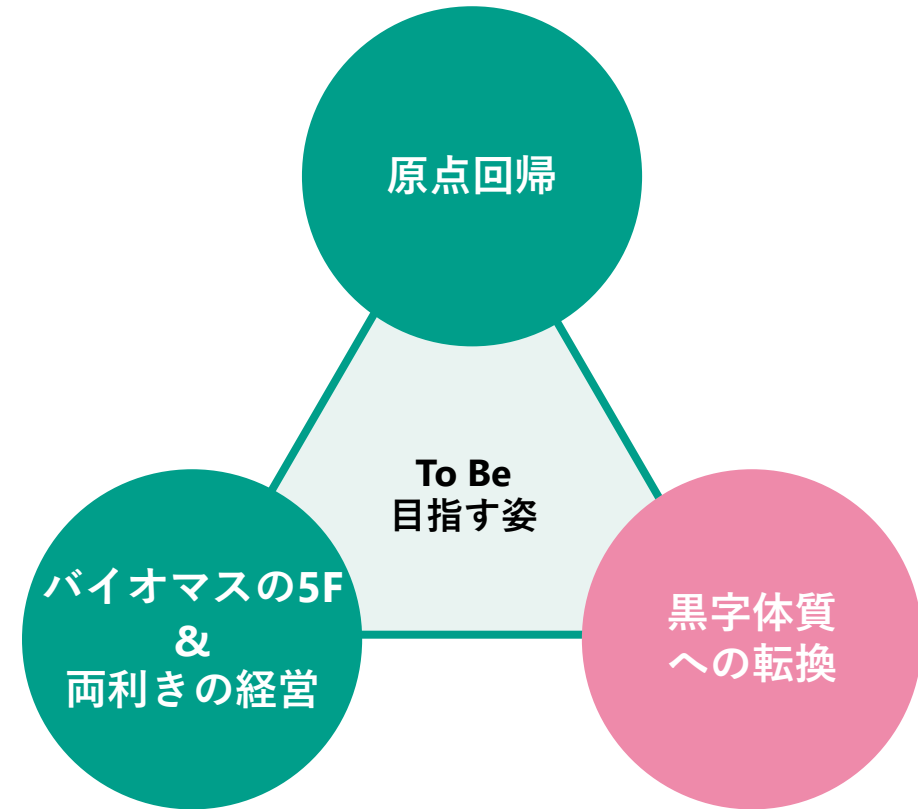
## 2024年からの新経営体制



若原 智広  
代表執行役員  
Co-CEO兼CFiO

出雲 充  
代表取締役社長

植村 弘子  
代表執行役員  
Co-CEO兼COO

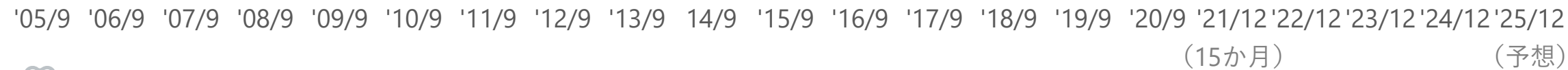
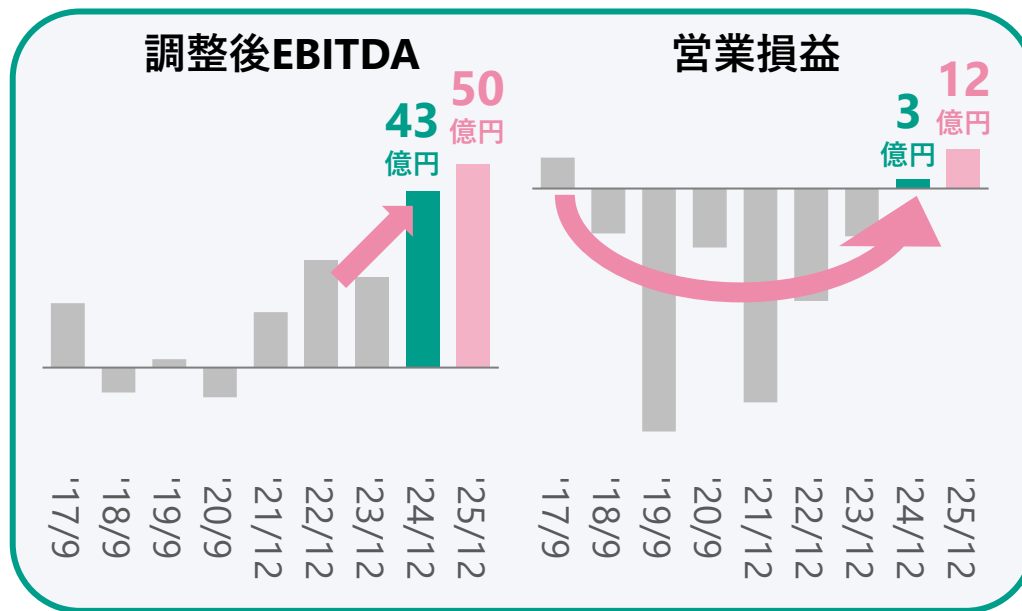


# 業績推移 - 2024年度進捗及び2025年度業績予想

2024年度は  
7事業年度ぶりに  
営業黒字を達成

売上高・調整後  
EBITDAともに  
過去最高値を更新

2025年度は更なる  
黒字拡大を見込む



Q'SAI  
( '21/6連結化 )

2005年8月  
創業

2012年12月  
東証マザーズに上場

2014年12月  
東証一部に上場

1Q-4Q  
(12ヶ月)



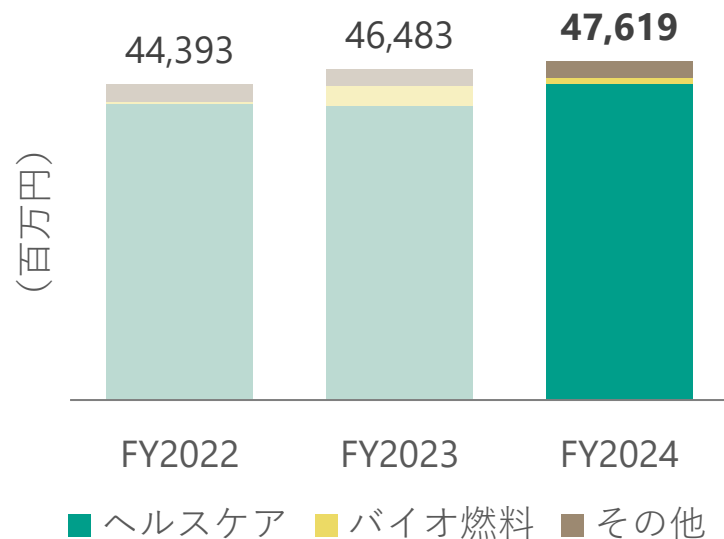
# 2024年度業績 - 売上高

## 2024年度売上高

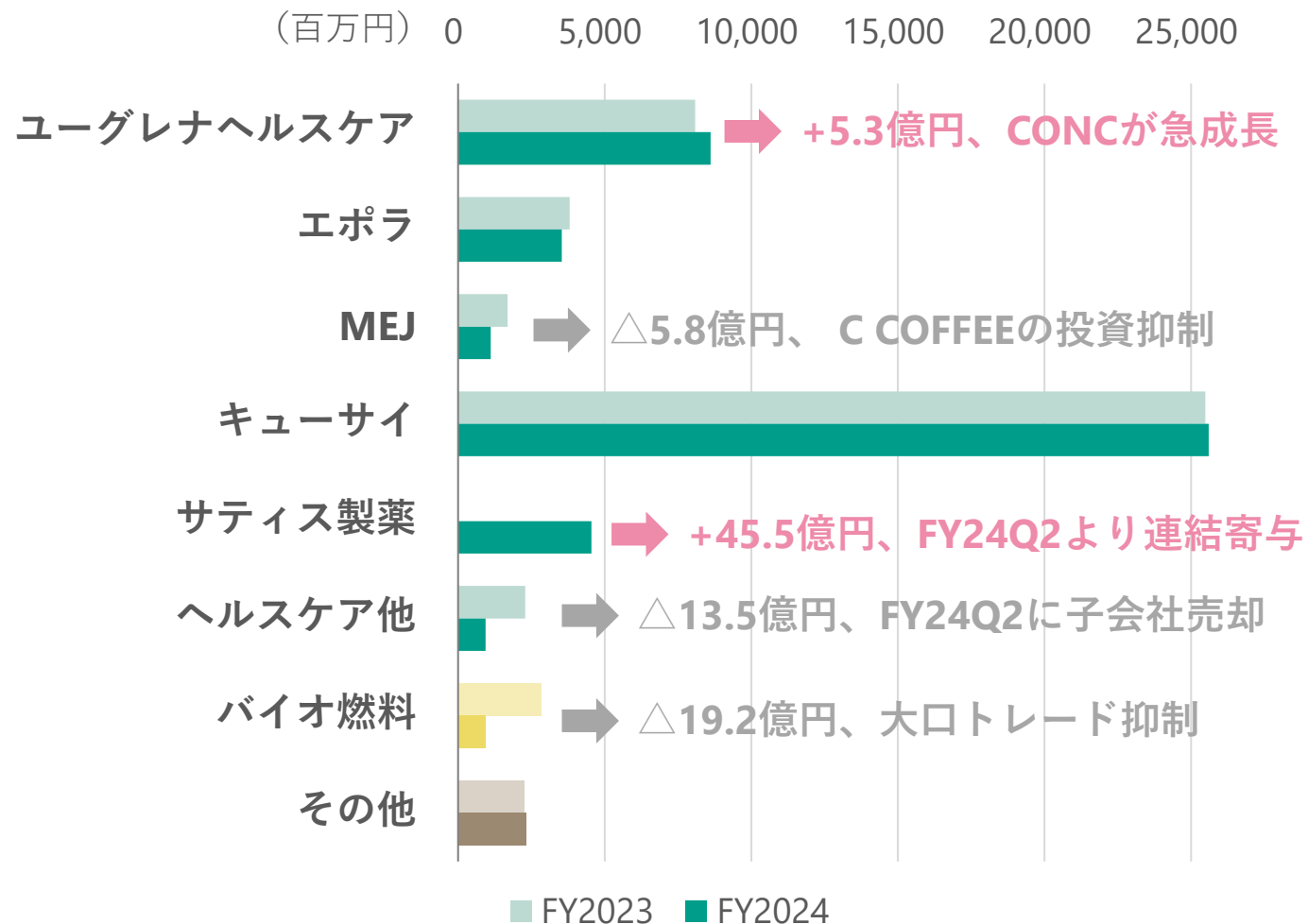
476億円

(前年比 102%)

### 売上高推移



### 増減分析 (事業別)



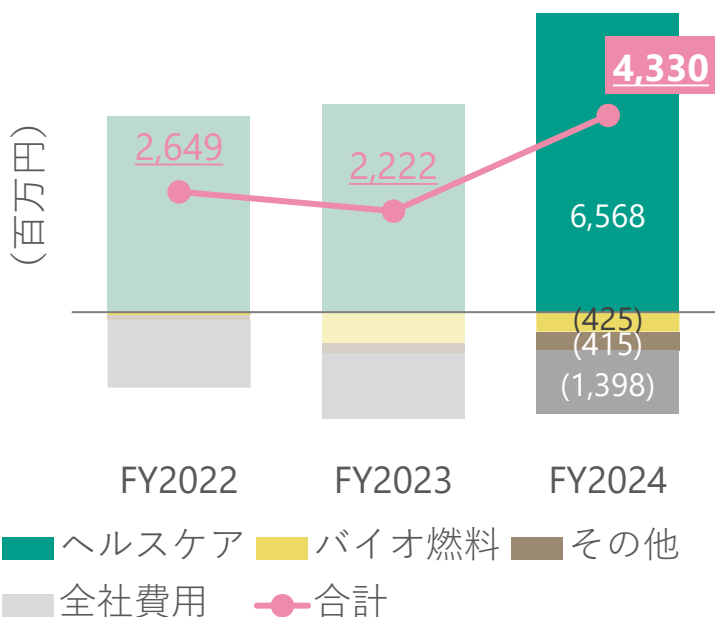
# 2024年度業績 - 調整後EBITDA

## 2024年度調整後EBITDA

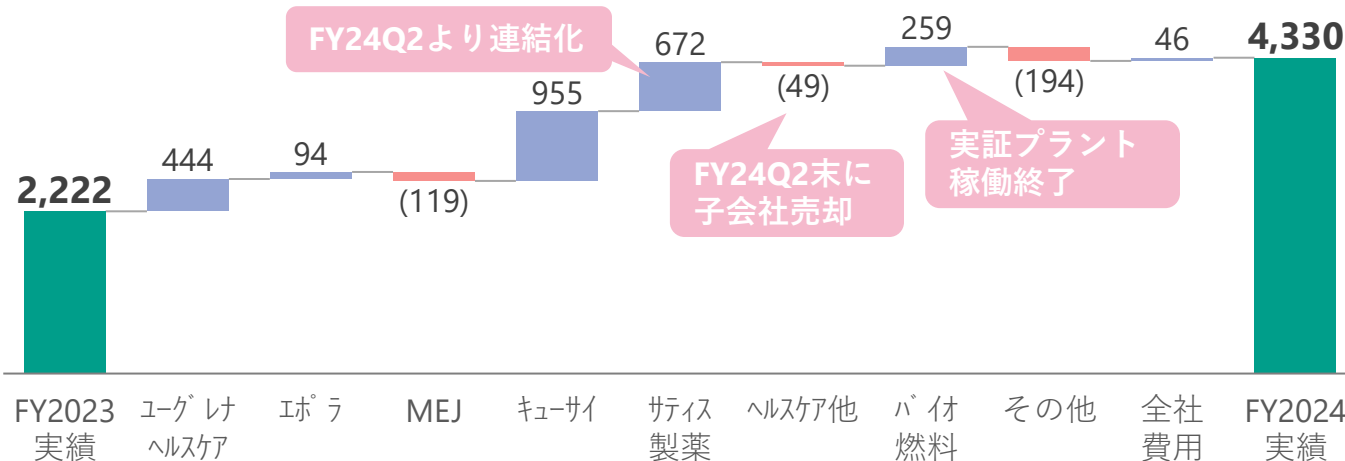
# 43.3億円

(前年比 195%)

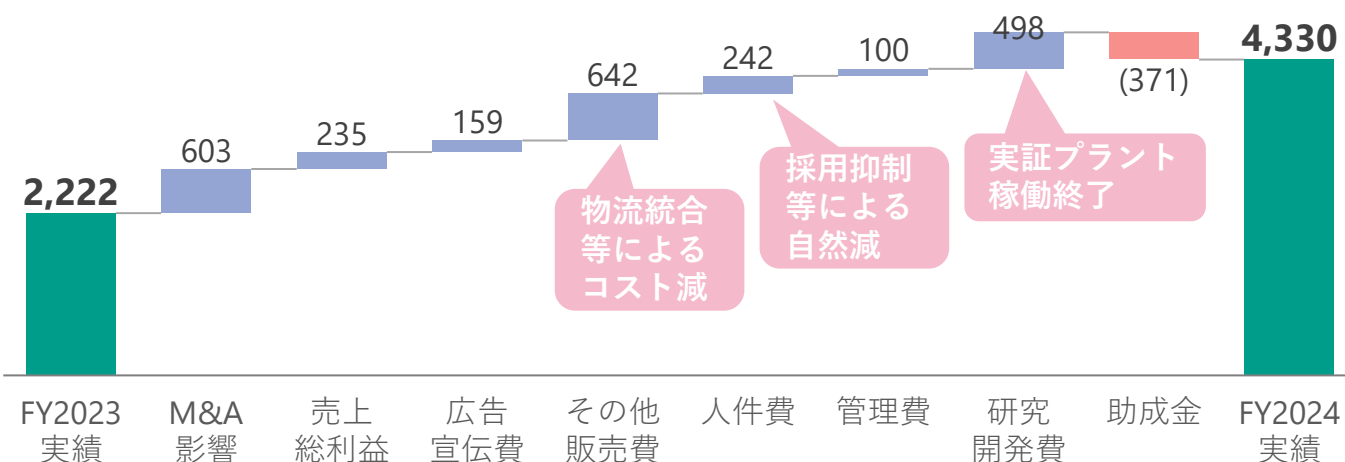
### 調整後EBITDA推移



### 増減分析 (事業別)



### 増減分析 (科目別)

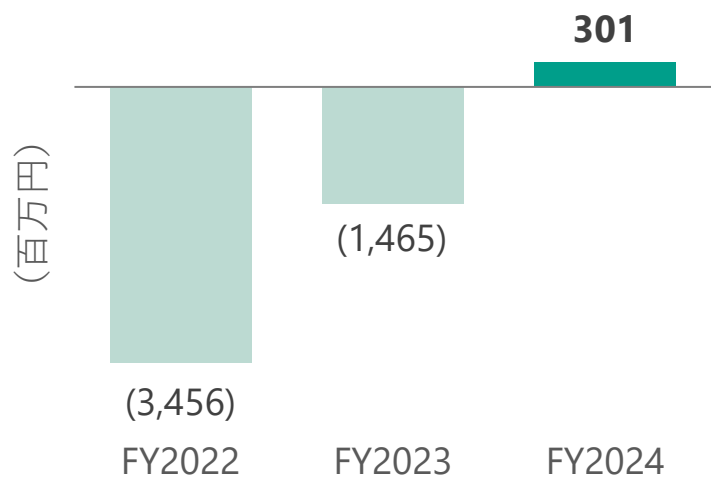


# 2024年度業績 - 営業損益

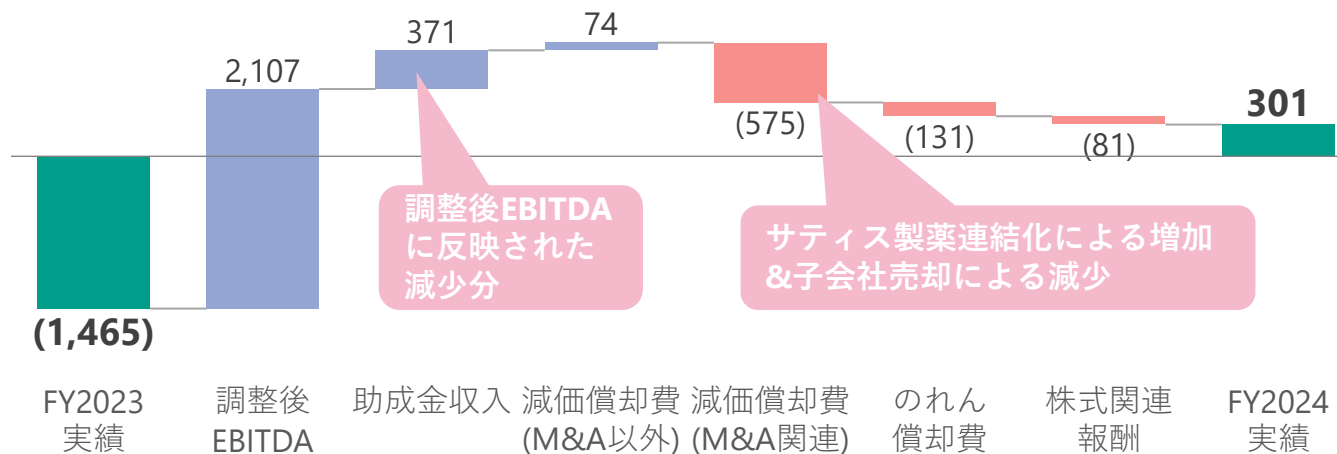
## 2024年度営業利益

3.0億円

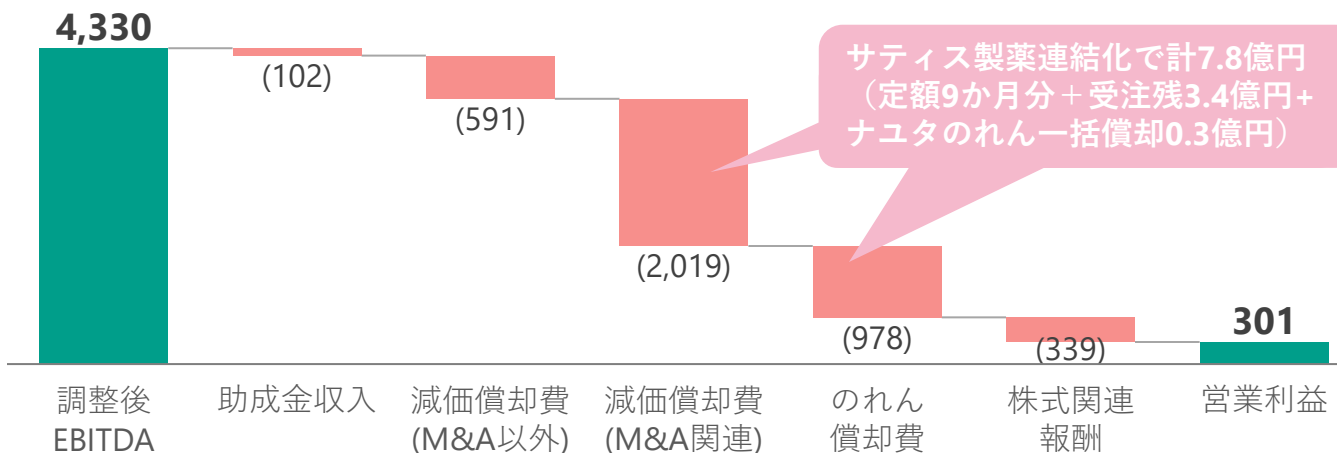
### 営業損益推移



### 増減分析 (営業損益)



### 構成内訳 (調整後 EBITDA → 営業利益、2024年度)



# 2024年度業績 - 経常損益 / 当期純損益\*1

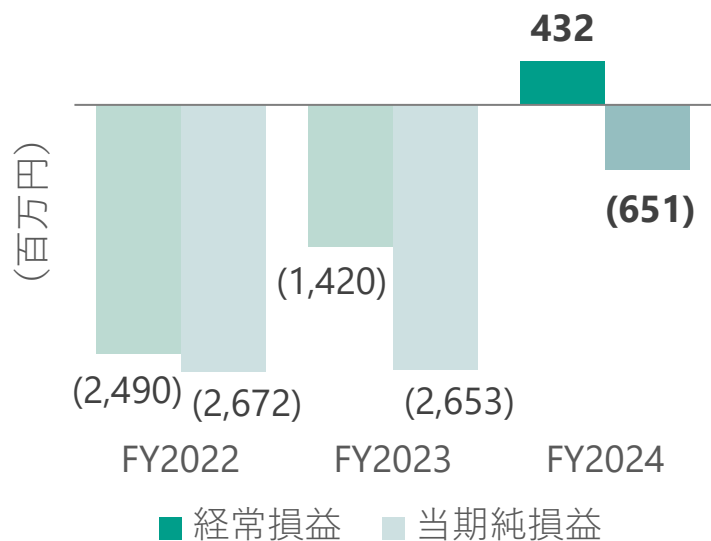
## 2024年度経常利益

4.3億円

## 2024年度当期純損失

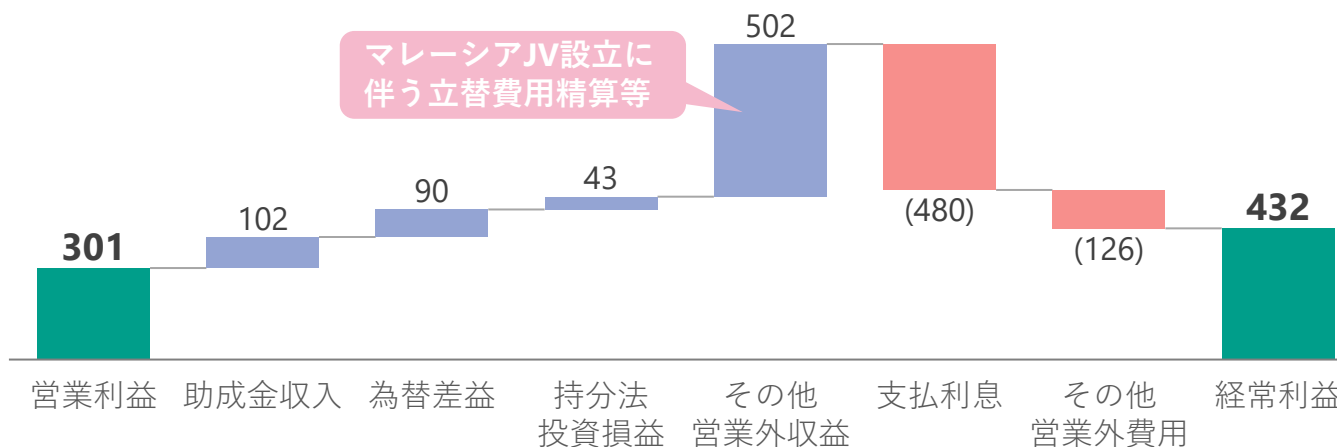
△6.5億円

### 経常損益 / 当期純損益推移

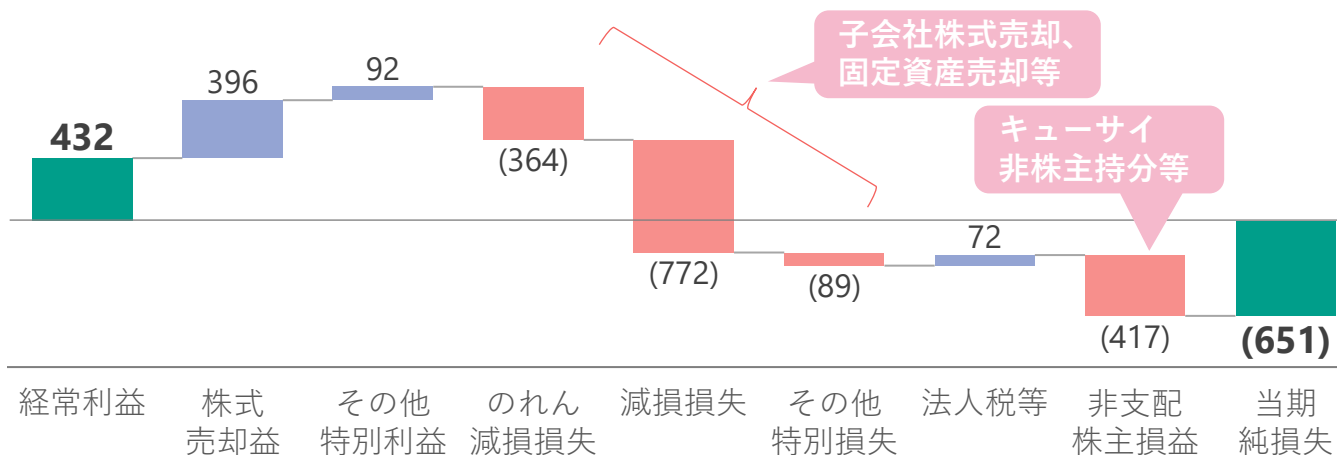


■ 経常損益 ■ 当期純損益

### 構成内訳 (営業損益 → 経常損益、2024年度)



### 構成内訳 (経常損益 → 当期純損益、2024年度)

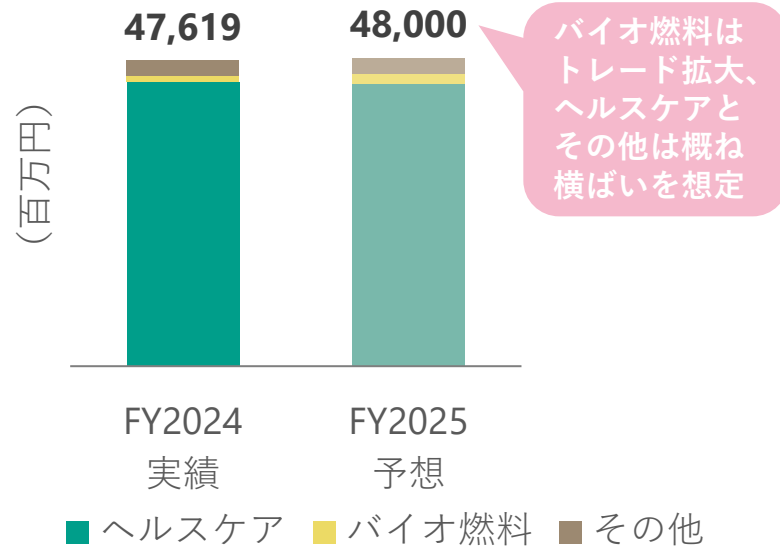


# 2025年度業績予想

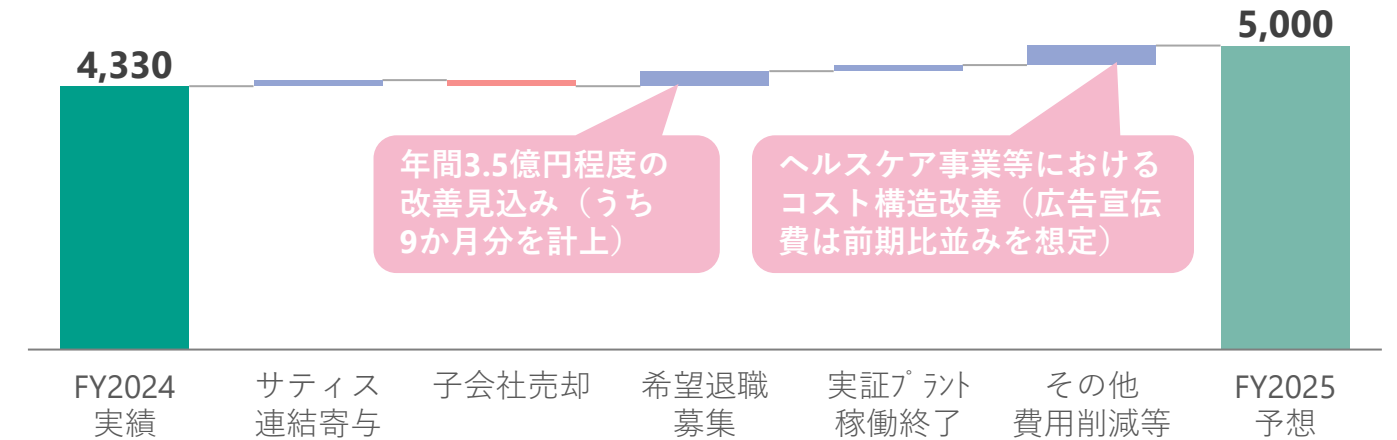
希望退職募集やコスト削減の継続で、  
黒字拡大に注力

2026年度以降も更なる拡大を見込む

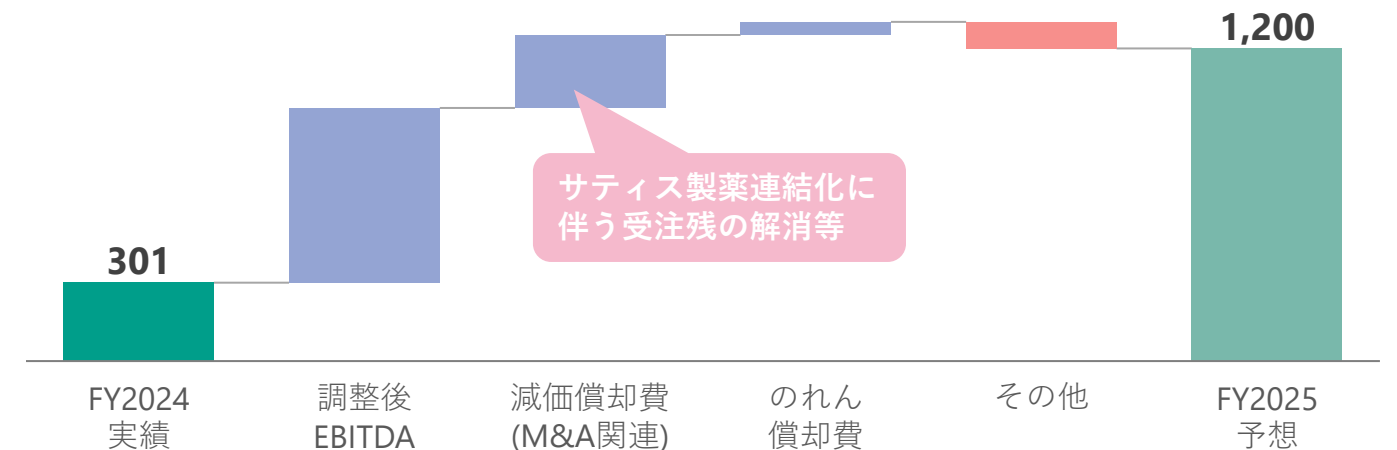
## 売上高



## 調整後 EBITDA



## 営業利益



# バイオ燃料事業

# 業界動向 - バイオ燃料市場の動向

EUと英国で2025年よりSAF 2%導入が義務化。CORSlA\*1や各国規制導入により、2030年に向けて国内外のSAF需要拡大が加速化する見通し

## バイオ燃料導入に向けた各国方針

### CORSlA

- 2019年比85%までCO<sub>2</sub>排出量を削減
- 2024年から自主的運用（126か国が参加）、2027年から全ICAO（国際民間航空機関）加盟国に原則適用

### 欧州



- EU RED III
- ReFuel EU

### アジア



- 日本  
⇒10%@2030年～

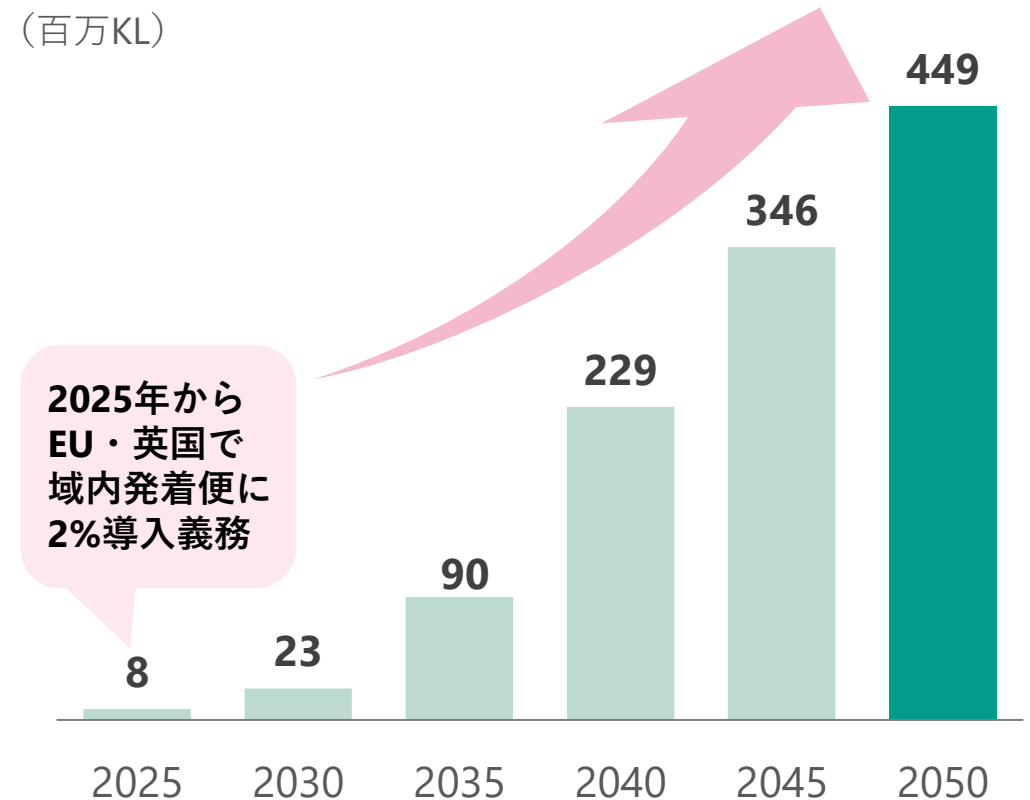
### 北米



- Grand Challenge
- RFS/LCFS等

## 世界のSAF需要の見通し\*2

(百万KL)



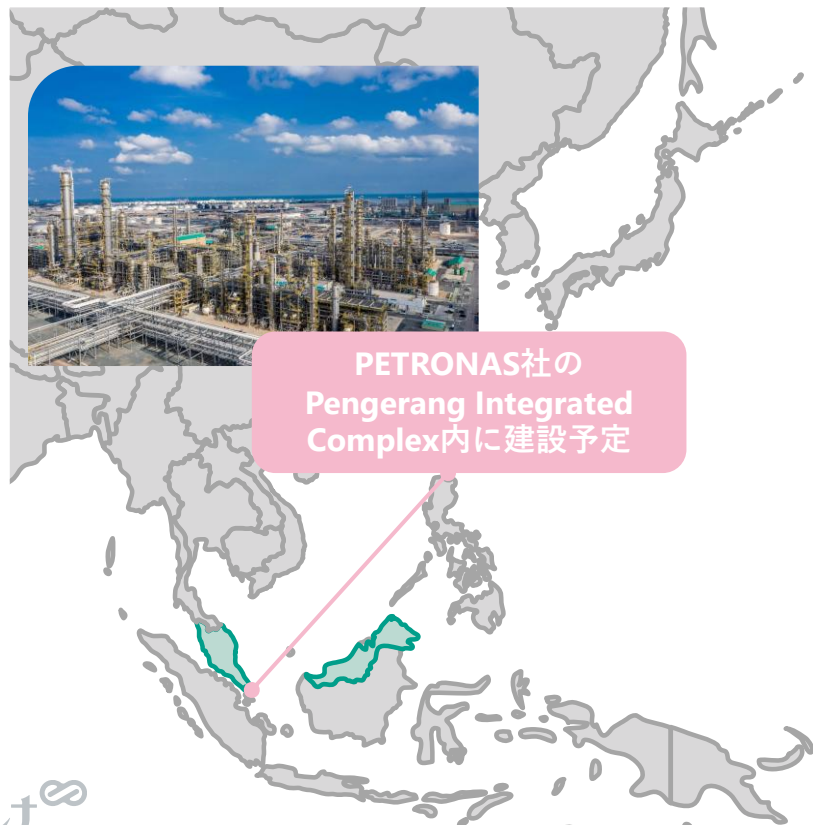




# 商業プラント - プロジェクトの概要及び進捗

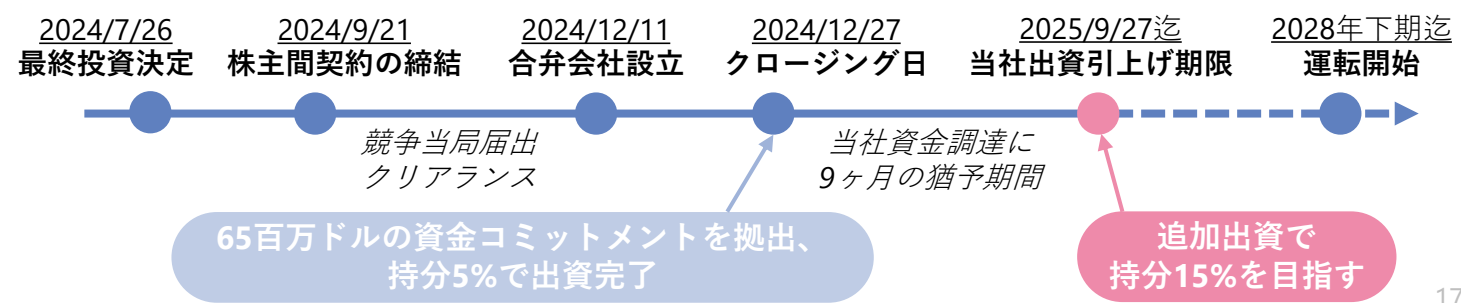
## 2024年12月にJVへの5%出資が完了、持分15%への早期引き上げを目指す

### 2025年より建設に着手し、2028年下期迄の稼働開始を予定



プロジェクト計画概要	
運営主体	Pengerang Biorefinery Sdn. Bhd. (パートナー3社の合弁会社)
建設地	PETRONAS社のPengerang Integrated Complex (PIC)敷地内
製品	SAF (バイオジェット燃料)、HVO (次世代バイオディーゼル燃料) 製造量が最大化するよう構成はフレキシブルに調整
使用原料	使用済み植物油、動物性油脂、植物油の加工に伴う廃棄物、 中期的には微細藻類由来の藻油などのバイオマス原料
原料処理能力	約65万トン/年
製造能力	最大12,500バレル/日 (約72.5万KL/年相当) のバイオ燃料
プロジェクト金額	約13億米ドル

## 今後のスケジュール (予定)

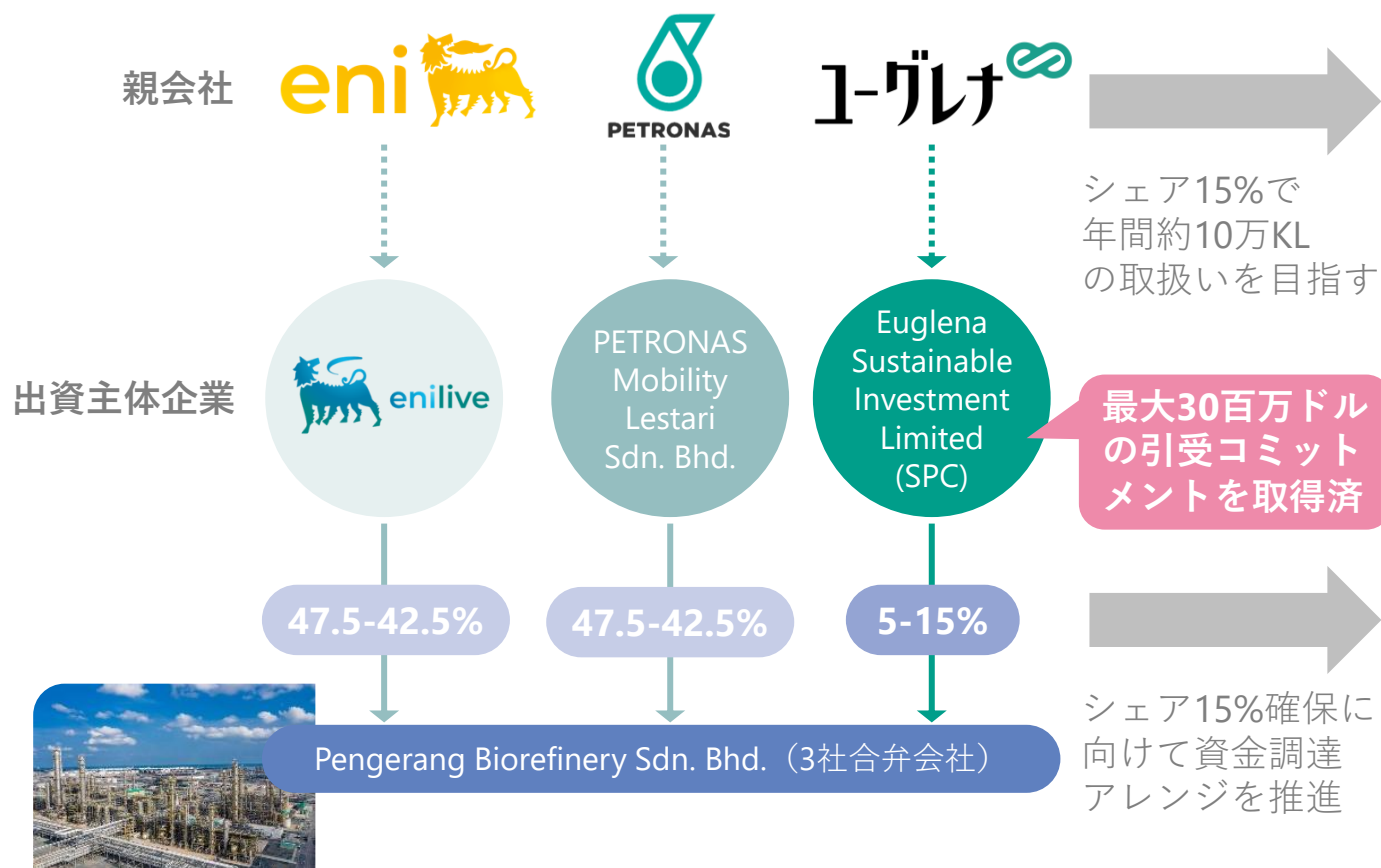


Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

# 商業プラント - 当社の収益ポテンシャルとファイナンス方針

持分15%時の収益ポテンシャルは、売上高300億円規模、税引前利益60億円以上

2024年12月に、国内金融機関からSPC負債性調達に係る最大30百万ドルの引受コミットメントを取得  
JV自身の第三者調達と合わせて、当社はエクイティ調達なしで持分15%引上げを目指す方針



## 当社の収益ポテンシャル\*1

- 売上高（原料/製品トレーディング）：  
**300億円/年規模**
- 税引前利益（資金調達影響を除く）：  
**60億円/年以上 + トレーディング収益**

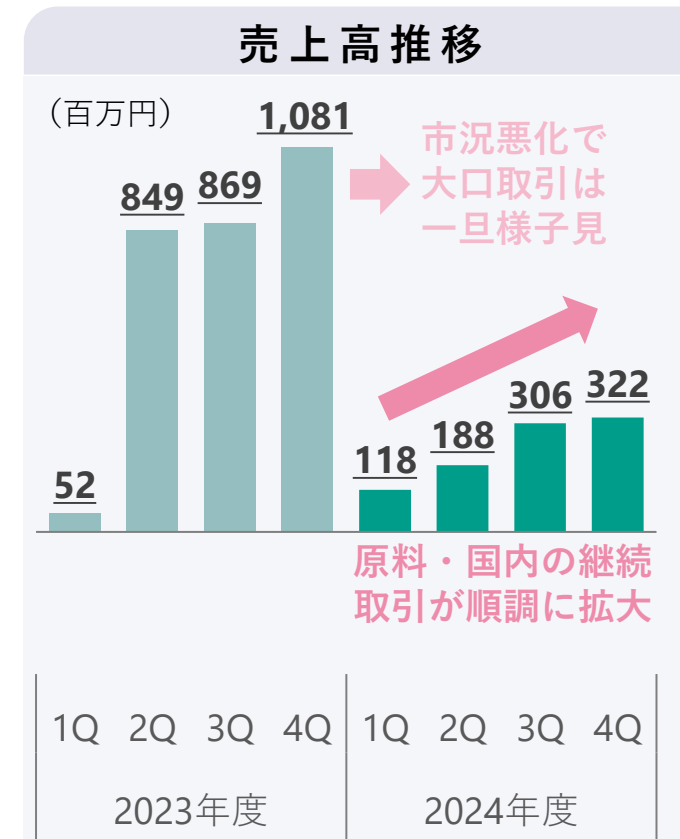
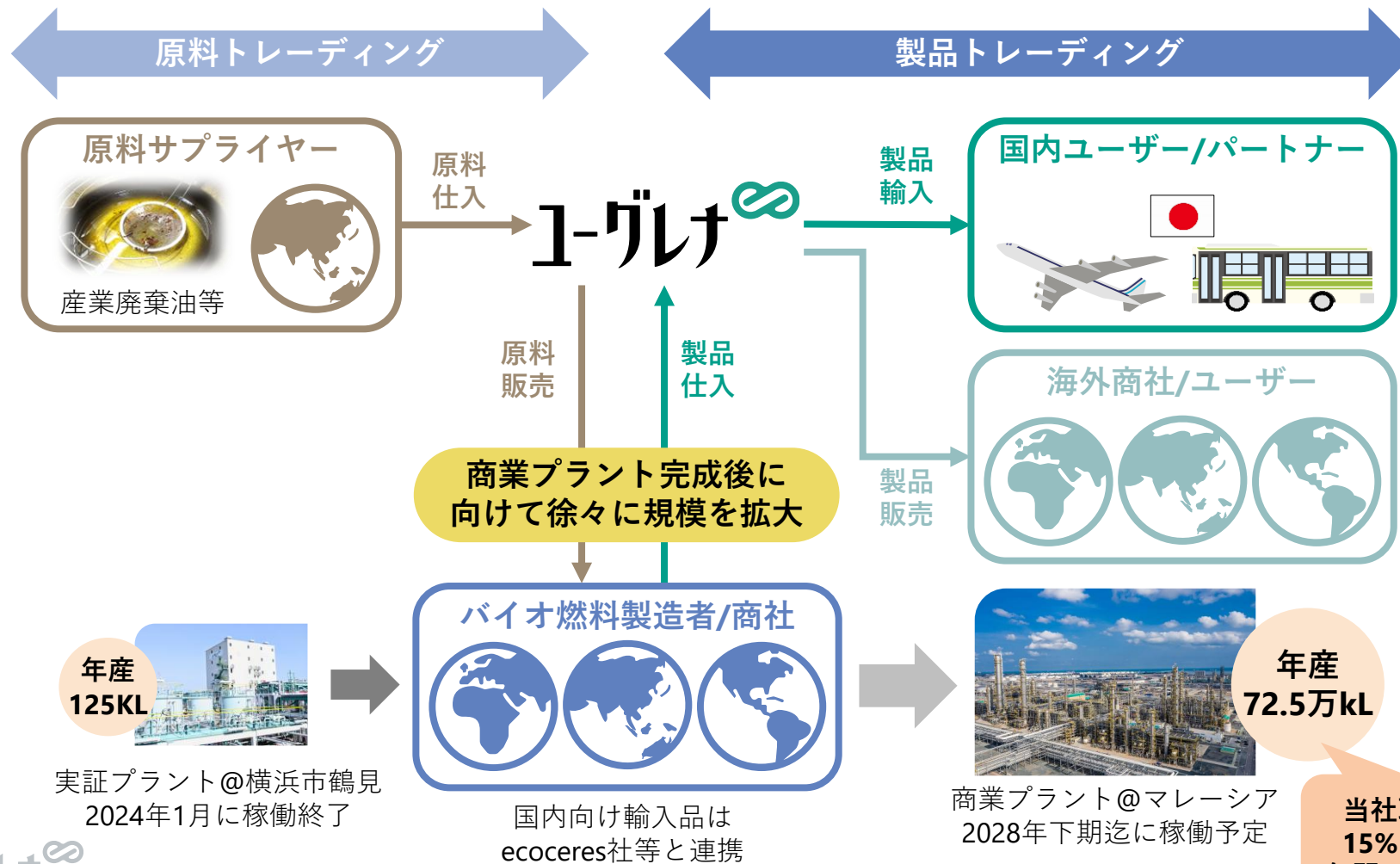
## 当社ファイナンス方針

- クローリング5%出資分（65百万ドル\*2）
  - 既調達資金と銀行保証でアレンジ
- 持分15%への追加出資分（必要金額未定\*2）
  - 当社SPCによる負債性調達およびJV自身の銀行借入等によるアレンジを想定
  - 現時点ではエクイティ調達は想定せず

\*1: 当社シェア15%（約10万KL/年相当）、バイオ燃料価格@300円/L、本合弁会社の純利益率20%以上・配当性向100%、銀行ローン等の資金調達無し、を想定  
\*2: 出資比率に応じて要する資金コミットメント（出資等及び保証提供）の総額。持分15%への追加出資に必要な金額はJV自身の第三者調達により減少する見込み

# 商業化準備 - 原料・製品トレーディング体制の強化

商業プラント稼働後の取引を見据えて、原料・製品トレーディングの体制構築を推進  
2024年度は原料調達と国内販売の継続取引先開拓に注力し、順調に拡大



当社取扱量は  
15%シェアで  
年間10万KL規模

# 商業化準備 - HVO/SAF普及に向けた国内パートナーシップ

## パートナーシップ構築によるHVO/SAFの供給網と継続利用の拡大を推進

HVOの継続供給先を拡大、香港EcoCeres社との連携で輸入HVOの調達先も確保

### HVO（次世代バイオディーゼル燃料）

#### 継続供給先の拡大



- Torch Tower建設工事（HVO100%）
- 路線/巡回/観光バス（HVO20%）

#### 国内供給パートナー



➡ 輸入HVOの供給が順調に拡大



#### 海外調達パートナー



- 香港EcoCeres社と日本でのSAF/HVOの普及を基本合意
- 同社からの輸入HVOで供給拡大

### SAF（バイオジェット燃料）

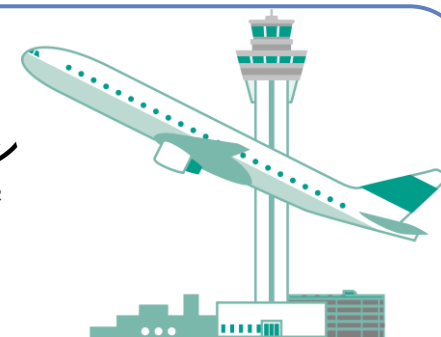
#### 羽田空港におけるパートナーシップ

- SAF供給・販売の事業化に向けたサプライチェーン構築の共同検討
- グリーンボンド（10億円）の発行

➡ 最大5万KL/年の  
SAF供給体制の構築を目指す



国内外エアライン  
@東京国際空港  
(羽田空港)

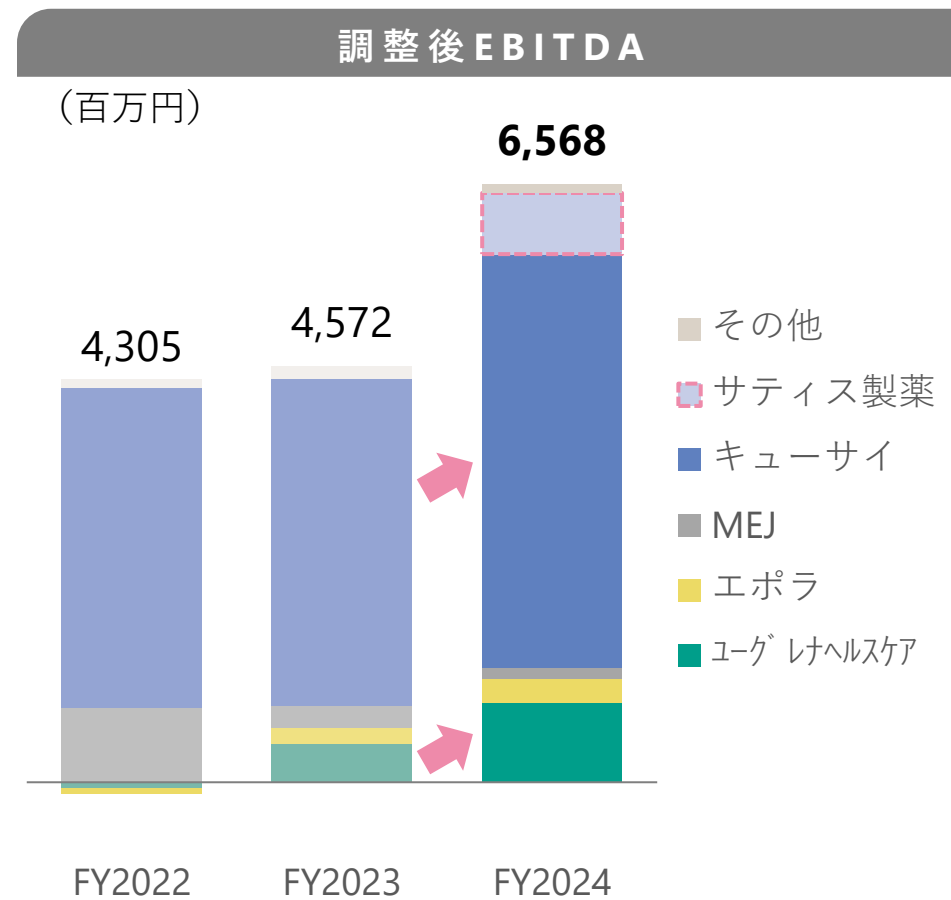
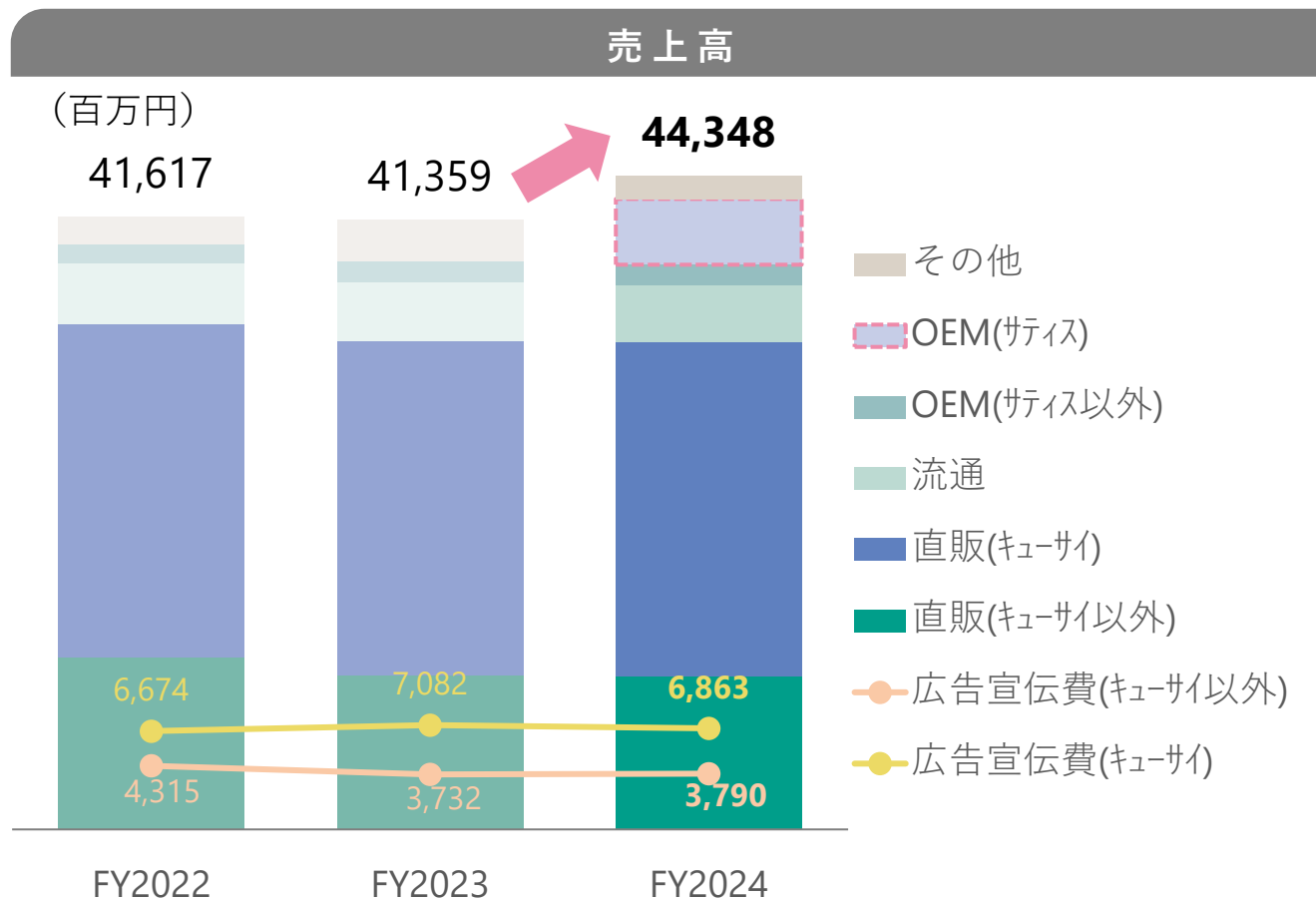


# ヘルスケア事業

# 業績トレンド - 売上高、調整後EBITDA

売上高は+7%増。直販は横ばい推移、OEMはサティス製薬連結化が寄与

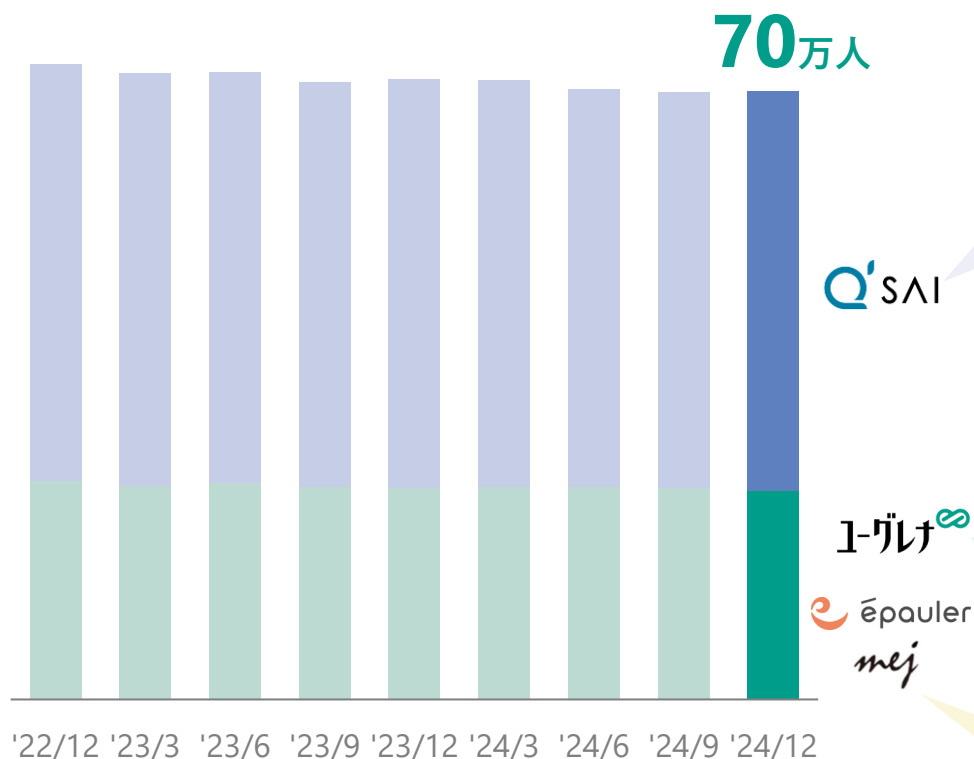
調整後EBITDAは+44%増。サティス製薬連結寄与に加えて、収益構造改革によるオーガニック成長も達成



# 業績トレンド - 直販定期顧客数

全体の顧客数は前四半期比で微増、広告投資効率は複数ブランドで改善傾向

グループ直販定期顧客数推移



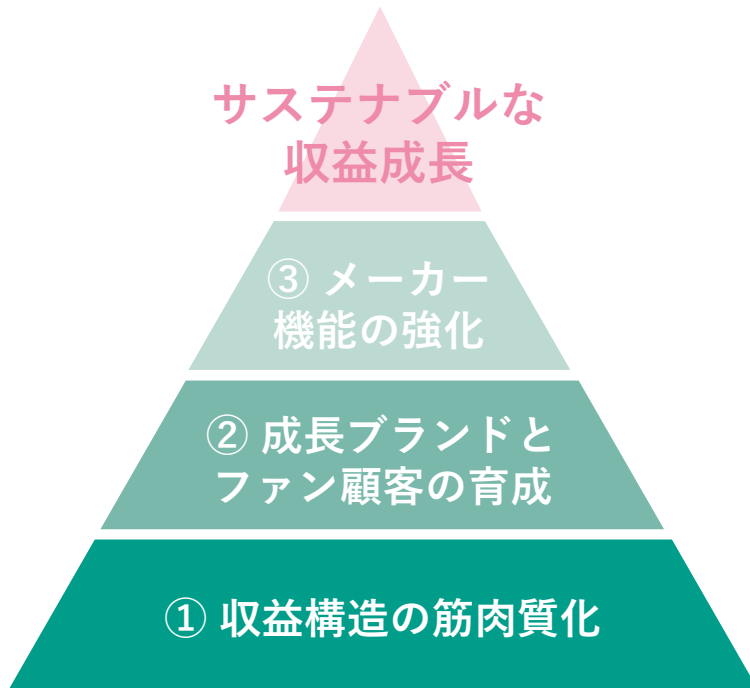
主要ブランド別トレンド (2024年度4Q)

<p>ひざサポート コラーゲン</p> <p>投資効率が改善傾向 前Q比で微増</p>	<p>コラリッチ</p> <p>投資効率が改善傾向 前Q比で増加</p>	<p>ザ・ケール</p> <p>復活版商品が好調 前Q比で大幅増</p>
<p>からだにユーグレナ</p> <p>投資効率改善傾向で投資 を拡大、堅調に推移</p>	<p>CONC</p> <p>好調継続で投資拡大中、 定期顧客数は前年比3倍、 投資効率・継続率ともに 安定</p>	
<p>one</p> <p>広告投資コントロール により、横ばい推移</p>	<p>akyrise</p> <p>広告素材を入れ替え再投資、 投資効率改善傾向</p>	
<p>epo</p> <p>好調な毛髪美容液を中心に 投資配分強化</p>	<p>C COFFEE</p> <p>新商品のテスト投資を継続、 減少率が改善傾向</p>	

# 中期経営方針

3つの注力領域で施策を展開し、2024年度は収益性改善が前倒しで進捗  
2025年度も収益性改善に注力するとともに、新たな売上成長に向けた種まきを推進

## ヘルスケア事業の中期方針



	売上高	調整後EBITDAマージン
2023年	414億円	11.1%
2024年	443億円	14.8%
~2026年	500億円	15%
~2030年	600億円	15%+

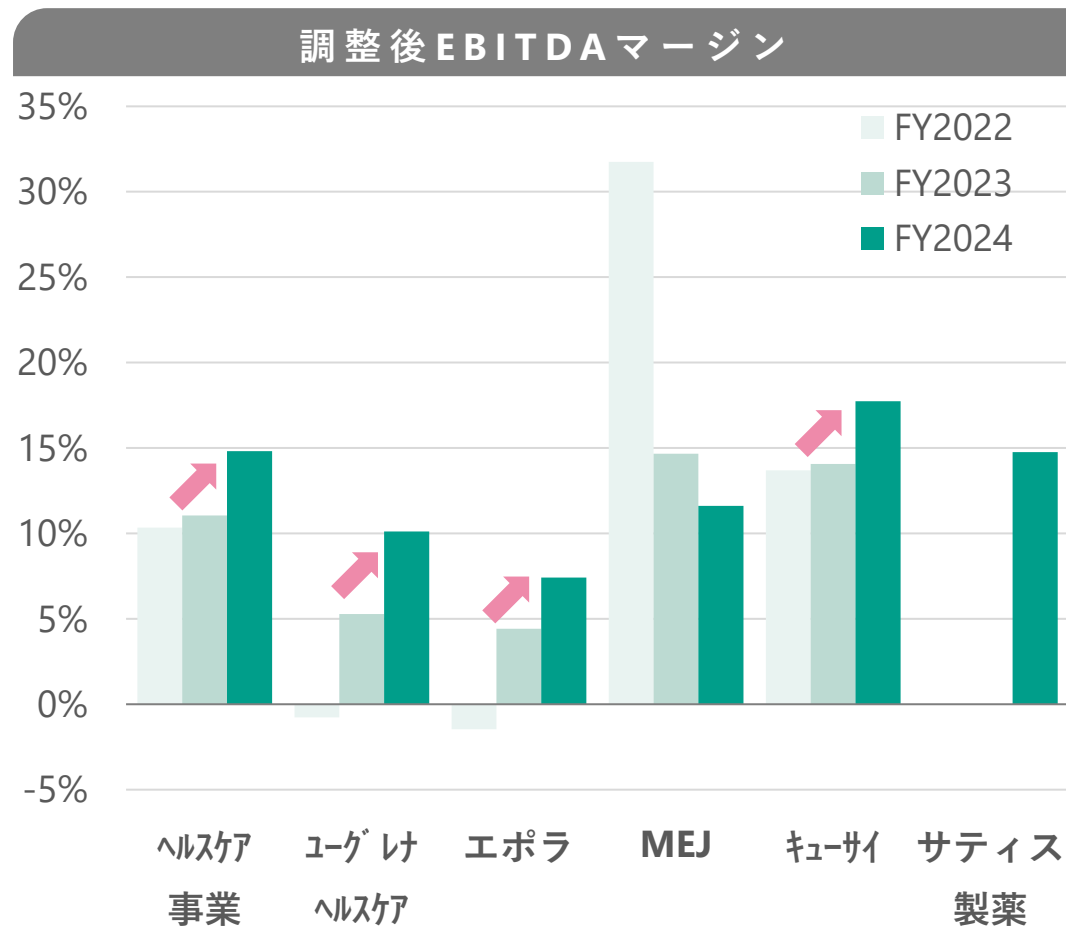
2025年度の  
進捗を踏まえて  
見直し予定



# 2024年度進捗 - ①収益構造の筋肉質化



グループ横断で収益構造の改善に取り組んだ結果、調整後EBITDAマージンの大幅な改善を達成



収益構造改善策	
売上高	● 主力商品値上げ（からだにユグレナ、ひざサポートコラーゲン）
売上原価	● 仕入れ先の見直し、資材の共同購買
広告宣伝費	● グループ横断での広告費アロケーション
物流費	● 物流統合による配送費/保管料低減 ● 隔月定期/ビッグサイズ導入促進による配送回数の低減 ● 配送資材のコンパクト化/共同購買
その他販売費	● 同梱販促物の最適化 ● 決済手数料の低減 ● コールセンターの内製化促進
人件費	● 新規採用の抑制による自然減 ● 人員配置の最適化
固定費	● 外注費の見直し

# 2024年度進捗 - ②成長ブランドとファン顧客の育成



グループ主カブランドの「からだにユーグレナ」「コラリッチ」が堅調に推移、「CONC」が新たな成長ブランドとして台頭

### からだにユーグレナ

#### 定期顧客数の推移

#### 子育て世代へのアプローチ

- 拡大するシニア世代への訴求
- 子育て世代へのアプローチ

### CONC

#### 定期顧客数の推移

#### 投資拡大フェーズへのシフト

- 継続率も堅調で、2個セット購入も増加
- 数々のアワード受賞でブランド資産も蓄積

### コラリッチ

#### 定期顧客数の推移

#### 安定成長への回帰

- ビッグサイズ&詰替え品導入で下期より増加、広告効率も改善
- リニューアル&値上げ発表後も、顧客離脱は限定的
- マルチチャネル展開も拡大

# 2024年度進捗 - ③メーカー機能の強化



素材認知の強化に向けて、コラボ商品の開発・顧客接点の拡大・素材プロモを推進  
メーカーとして、ユーグレナ生産技術の進化と化粧品開発/製造機能の拡充にも注力

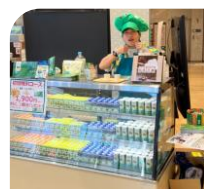
## 素材認知の強化

### コラボレーション商品の開発



罪悪感のないラーメン クーリッシュ (LOTTE) ペヤングやきそば (まるか食品)

### 顧客接点の拡大



学校給食でのメニュー採用\*1 ポップアップ出店 企業食堂での提供\*2

### 素材プロモーション



● キューサイ  
青汁復刻版  
のCM展開



● 展示会出展  
「藻活」  
(もかつ)

## ユーグレナ生産技術の進化



石垣島  
ユーグレナ  
培養設備



石垣島  
ユーグレナ



パラミロン  
原末

- より培養効率の高いユーグレナ株を用いた安定生産体制を確立し、培養効率向上&培養コスト低減を実現
- パラミロン原末の安定生産技術を確立。医薬部外品・化粧品原料として規格化し、食品原料利用も視野

## 化粧品開発・製造機能の拡充

ユーグレナ



The Strategic FAB Company  
SATICINE MEDICAL



JAPAN BEAUTECH  
日本ビューテック  
NAYUTA

- 新興D2C企業向け化粧品ODM製造を強みとするサティス製薬がグループ参画
- 研究開発・営業連携でシナジー創出を図る

\*1: 沖縄県石垣市内全18校、西表島4校の小中学校の給食に採用

\*2: シダックスコントラクトフードサービス社と協業しユーグレナ入りラーメンや唐揚げを、マルイグループ等全国約400店舗以上(約2万食)の企業食堂で提供

# 2025年度方針 - ①収益構造の筋肉質化



黒字体質の定着に向けて、希望退職者の募集など収益構造改革を強化・継続

## 希望退職者の募集

- 量販/ドラッグストアチャネルの縮小・撤退
- 商品開発チームを縮小し、化粧品開発機能をサティス製薬へ集約

1-グレナ



The Strategic FAB Company  
SATICINE MEDICAL

## 購入単価アップ

- からだにユーグレナ、コラリッチの値上げ



24年11月より値上げ  
(既存定期)



25年1月より値上げ

- 「食」を軸としたクロスセルの開発・強化



からだにユーグレナ  
(ふりかけ、出汁)

akyrise  
(美容膳シリーズ)

## コスト削減

- 広告投資の効率化
- コールセンターの内製化や外注費の見直し
- 物流統合・共同購買等、24年実施施策の通期寄与

# 2025年度方針 - ②成長ブランドとファン顧客の育成

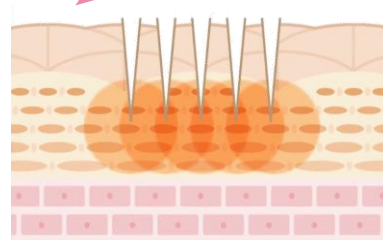


好調な「ノック注入型マイクロニードル」を横展開することで、成長の加速を企図  
 既存ブランドは他チャンネル展開、ラインアップ拡充で更なる成長を目指す

## マイクロニードル市場の開拓

- 非医療用初となる「ノック注入型」マイクロニードルを強みと認識

「ノック注入型」は当社がパイオニア



- マイクロニードル商品の横展開を目指す

マルチ  
チャンネル展開



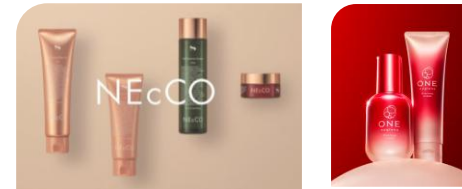
グループ会社  
での展開



他の機能性  
への展開

## 既存ブランドの拡大

1-グレイ<sup>∞</sup> NEcCO/one



- 高価格帯商品の美容チャンネル展開

épauler epo/FUSARI



- ヘアケア商品の注力
- ラインアップ拡充

Q'SAI ひざサポートコラーゲン/コラリッチ/BIONIA



- 商品リニューアル
- ラインアップ拡充

# 2025年度方針 - ③メーカー機能の強化



機能性素材としてのユーグレナ、サティス製薬との連携を軸にメーカー機能を強化  
素材・商品軸で海外展開の拡大も目指す

## 機能性を軸とした商品開発

- 「睡眠改善・ストレス緩和・疲労軽減」訴求の機能性素材としてのポジショニング



当社新商品



アリナミン製薬社の商品

## サティス製薬との連携強化

- グループ連携によるOEM受託営業の強化
- 研究チーム間の連携によるユーグレナ化粧品新素材の開発
- 既存商品の製造移管検討

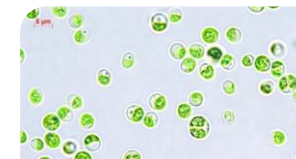
## 海外展開

### クロレラ原料

- 世界約40カ国への展開実績あり（欧米、中国等）
- マレーシアへの輸出を開始、更なる拡大を目指す



粉末画像



顕微鏡画像

### 自社・グループ商品

- アジアにおけるグループ商品展開実績あり（中国、台湾、シンガポール、ベトナム等）
- マレーシア、フィリピン、モンゴルで新たに販売開始予定



# その他事業

# サステナブルアグリテック - ターゲット市場

「バイオマスの5F」の次なる主戦場は飼料・肥料領域。研究開発力と微細藻類の大量培養技術を活かして、機能性・環境負荷低減の側面から肥料・飼料市場にアプローチ

## 機能性の側面

### ニーズ

- 成長促進
- 病気耐性  
(歩留まり向上)
- 味の改善

微細藻類利用に  
ポテンシャル、  
環境負荷低減にも  
資する優先テーマ

## 環境負荷低減の側面

- 温暖化ガス排出量の削減
- **サステナブルな代替原料の確保**
  - 肥料：窒素・リン・カリウム
  - 飼料：DHA・タンパク質

微細藻類の  
大規模培養と  
未利用資源開発  
でアプローチ

### 肥料

- **バイオスティミュラント**
  - 国内約100億円、海外約40億ドルの市場で、今後も拡大見込み
- 肥料添加剤

少量・高単価  
で参入可能

### 有機肥料

- 化学肥料（国内約4,200億円、海外約1,450億ドルの市場）からの転換が進む見込み
- 土壌改良剤

### 飼料

- **配合飼料**
  - 国内約2兆2,900億円、海外約4,000億ドルの市場で、今後も拡大見込み
- 飼料添加剤

### 魚粉代替飼料

- 養殖飼料（国内約4,700億円、海外約2,000億ドルの市場）の資源枯渇への懸念大
- 農作物代替飼料
- 飼料添加剤



# サステナブルアグリテック - ビジネスモデルと取組テーマ

研究開発と未利用資源の発掘を推進し、まずは少量・高単価で参入可能な機能性市場を優先  
 製造・販売はグループ会社とパートナーシップを活用しつつ、中期的にはM&Aも検討

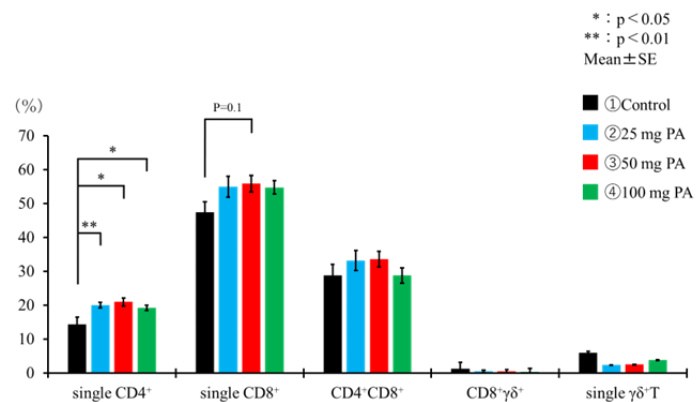


# サステナブルアグリテック - 2024年度の主な進捗

肥料・飼料領域で微細藻類を活用した様々な研究開発を実施、付加価値向上の可能性を確認  
藻類のみならず未利用資源も活用した研究を展開

## ニワトリの獲得免疫能向上

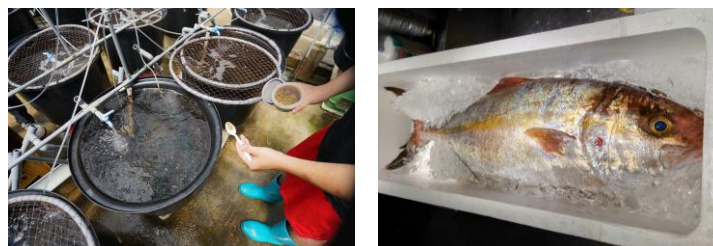
- 宮崎大学、あすかアニマルヘルスとの共同研究で、**パラミロン配合飼料**の給与によりニワトリの獲得免疫能が向上する可能性を確認。組織中免疫関連細胞の相対的比率が増加



胸腺サブセット解析

## カンパチ稚魚の自然免疫能向上

- 鹿児島大学水産学部との共同研究で**ユーグレナ配合飼料**の給与により、**カンパチ稚魚の成長と自然免疫能が向上**する可能性を確認

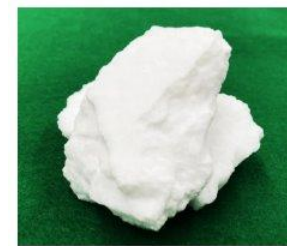


※写真はイメージ

ユーグレナ給餌によりカンパチ稚魚の成長が促進された

## 未利用資源の活用

- 車載ディスプレイ用カバーガラスの化学強化工程で発生する**廃棄塩**を、**肥料原料としてリサイクル**することに日本で初めて\*1成功。特許を共同出願



固化した化学強化廃棄塩



当廃棄塩由来肥料(上)と既存肥料(下)のコマツナの栽培比較、既存肥料と遜色のない発育が確認された

## 現地の子どもたちの栄養改善を目指すGENKIプログラムが10周年 経済発展が著しい Bangladesh における日本企業としてのプレゼンス確立にも寄与

### GENKIプログラム

クッキー配布数が累計1,950万枚\*1突破



1,950万食



2014年4月開始



10周年イベントを両国で開催



### 現地での支援活動



- 暫定政府発足に向けた現地情勢の安定化を支援すべく、グラミン・ダノン社と連携し、現地 Bangladesh の学生ボランティアと公立病院4施設を対象にユーグレナクッキーを約11万食配布

# バングラデシュ - 事業ポートフォリオの再編 Grameen euglena<sup>∞</sup>

## もやし向け緑豆事業を終了、早期黒字化に向けて事業ポートフォリオを再編

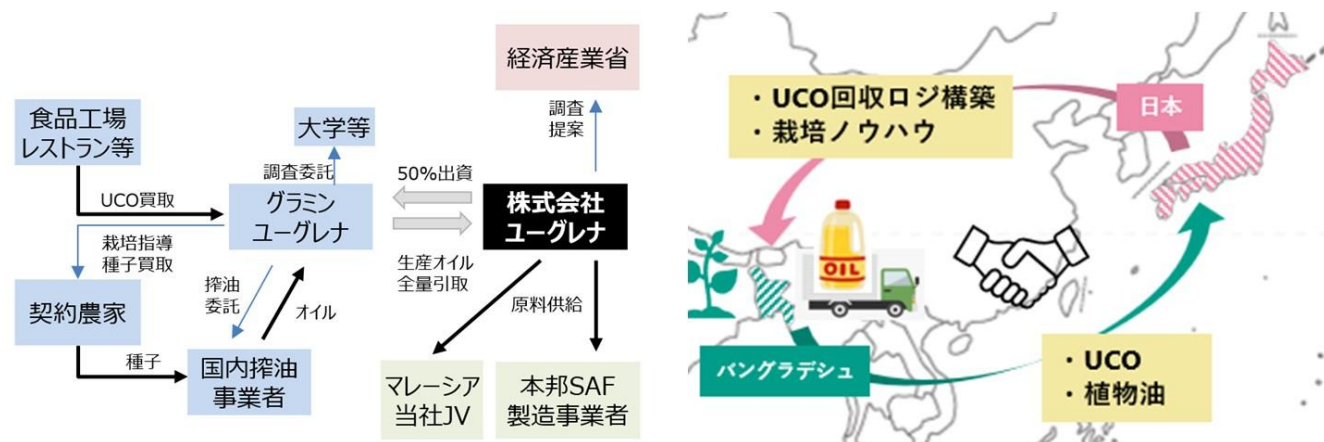
新事業としてSAF向け原料サプライチェーン構築を設定、経産省助成金を活用して実現可能性調査を開始

### 事業ポートフォリオの見直し

- 2014年以来続けてきたもやし向け緑豆栽培事業を2024年をもって終了することを決定
  - 天候不順による栽培不調、日本からの需要伸び悩み等を考慮
- 2025年以降は事業ポートフォリオを以下に再編し、収益事業創出に注力
  - **ソーシャル調達**：日本企業の農作物輸入ニーズを、バングラデシュ産品で代替
  - **エネルギー**：バイオ燃料向け原料サプライチェーンの構築
  - **ウェルネス**：経済発展に伴い拡大する富裕層・中間層向けヘルスケア商品の販売

### SAF向け原料サプライチェーン構築に向けた調査事業

- バングラデシュとバイオ燃料領域における事業基盤を活かし、**廃食油回収事業や油糧作物栽培の立ち上げに向けた調査**に着手\*1
  - SAF向け原料確保は国内外で喫緊の課題、東南アジアでは廃食油回収事業の立ち上げが隆盛
- 貧困・失業・CO<sub>2</sub>排出ゼロに資するソーシャルビジネスを目指す

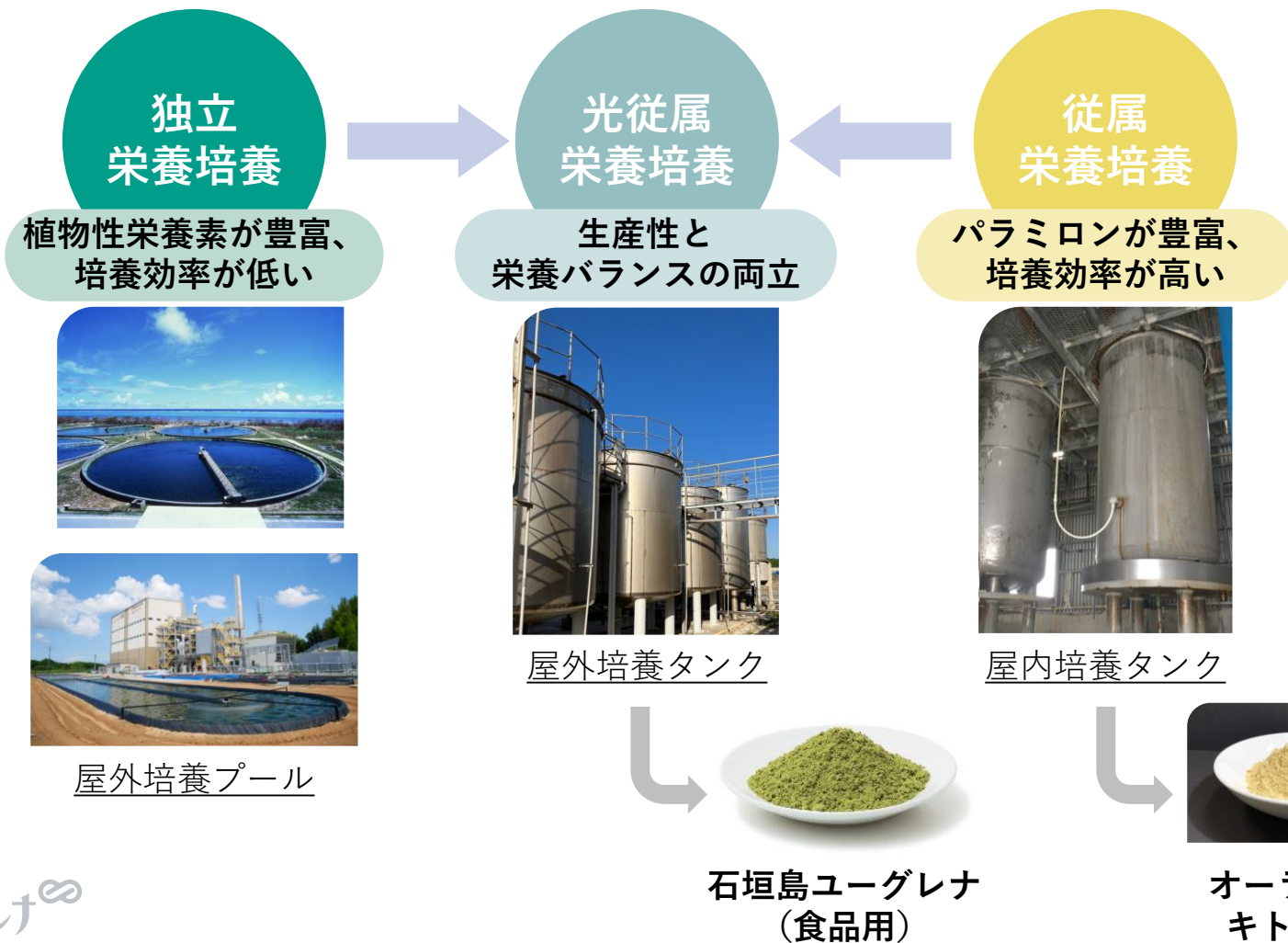


# 研究開発

# 大規模培養 - 従属栄養培養による生産体制構築とスケールアップ

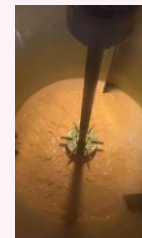
従属栄養培養による生産体制の構築を推進、スケールアップ実証検討にも着手

バイオ燃料原料生産に向けた前段階として、パラミロン原末や飼料・肥料展開による商業生産を目指す



## 従属栄養培養を軸とした技術開発

- 従属栄養培養による生産体制構築とスケールアップ実証検討に着手
- 2024年進捗：
  - オーランチオキトリウムの商業生産体制を構築
  - ユーグレナの高脂質・高密度タンク培養に成功（ヘルスケア向け光従属栄養培養比で最高約10倍の高密度）
- 大規模生産・低コスト化により、パラミロン原末や飼料・肥料展開に向けた商業生産を目指す



# 大規模培養 - バイオ燃料原料用ユーグレナ生産の実用化

原料サプライヤーとしての競争優位性確保に向けて、多面的な研究開発を推進

2024年8月には、技術開発を加速すべく、PETRONAS Research社との包括的共同研究契約を締結

## 共同研究



### PETRONAS Research社との共同研究

バイオ燃料原料用微細藻類の大規模生産技術に関する包括的共同研究契約を締結

## 当社独自の研究開発

I-Greene



@インド  
ネシア



@三重



熱帯バイオマス技術研究所

独立栄養培養  
での研究開発  
を継続



光従属  
栄養培養

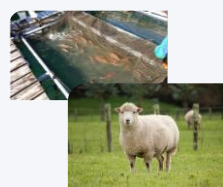


従属  
栄養培養



生産技術研究所

従属栄養培養  
での研究開発  
を強化



飼料



肥料



資源サーキュラー技術研究所

脱脂藻体の  
飼料・肥料  
活用の研究

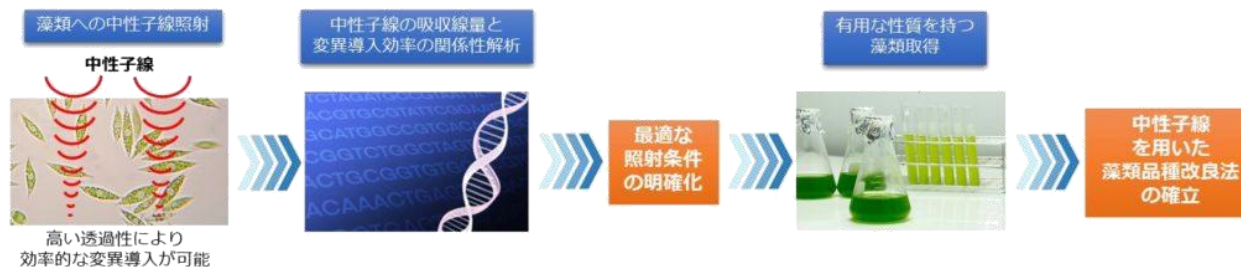
# 技術力 - 品種改良技術

2024年は、遺伝子変異導入やゲノム編集による高効率な品種改良技術を新たに確立  
既存の高速選別技術も活用し、品種改良の加速と産業転用に向けた体制構築も視野

高効率な  
遺伝子変異の  
導入技術

ランダム性はあるものの、  
作出株は即時産業利用が可能

2024年進捗：NTTとの共同研究で、中性子線照射による藻類遺伝子への高効率な変異導入技術を確立\*1



ピンポイント  
なゲノム編集  
技術

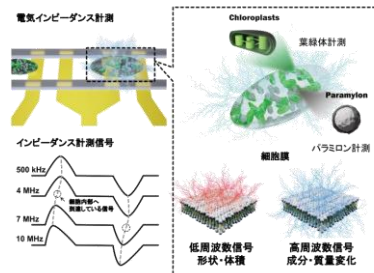
各種規制対応が必要となるものの、  
柔軟かつ緻密な有用株作出が可能

2024年進捗：理研との共同研究で、Cas12a RNP複合体を用いた高効率ゲノム編集技術を確立、1塩基レベルの精密な塩基書き換えにも成功\*2



有用品種の  
高速選別技術

有用株の高速選別により、  
各種品種改良を加速



これらの技術の産業転用に向けて、  
ゲノム編集株を活用した生産体制の  
構築も検討予定

\*1: 「世界初、中性子線照射による藻類の品種改良技術を確立 (2024/7/4)」 (<https://www.euglena.jp/news/20240704-2/>)

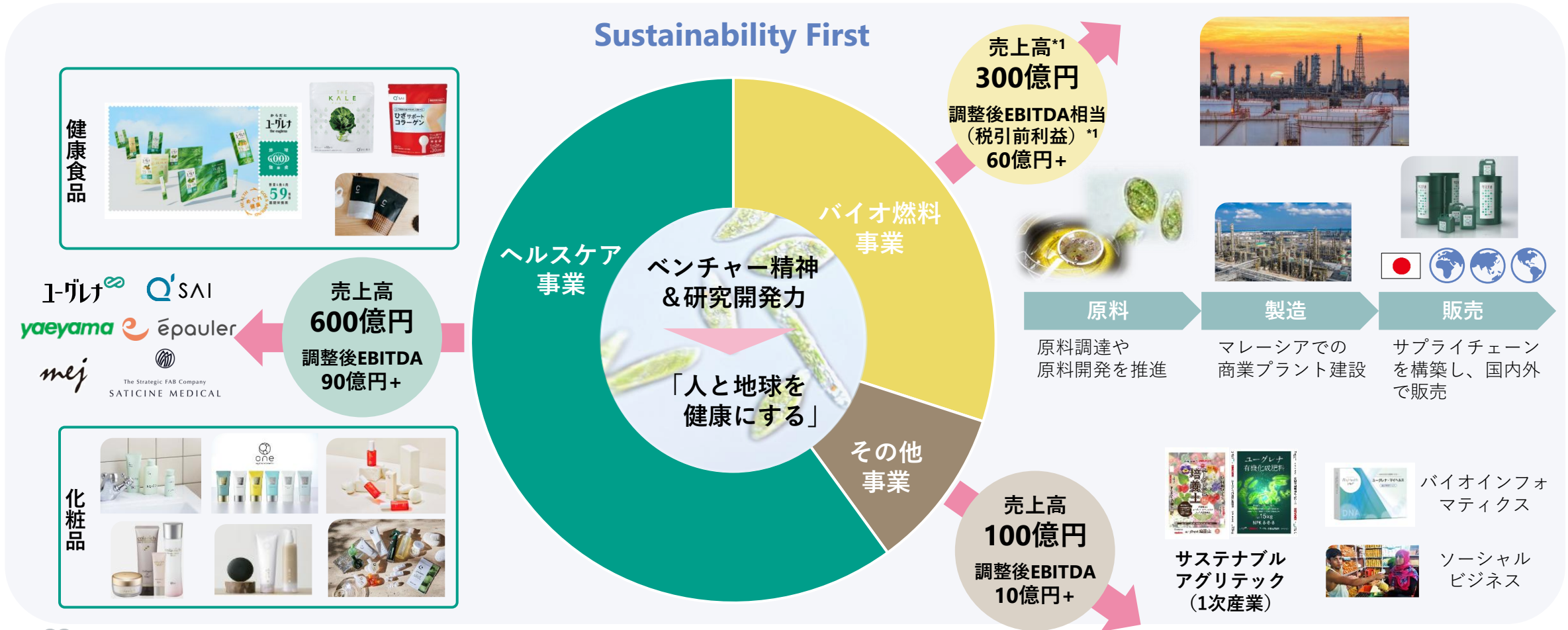
\*2: 「微細藻類ユグレナのゲノム編集技術を拡張 (2024/2/1)」 (<https://www.euglena.jp/news/20240201-2-2/>)



# 中期展望

# 2030年に向けた成長イメージ - 事業ポートフォリオ

既存事業の成長と新たな売上の柱の創出により、サステナブルな成長を目指す  
売上高1,000億円規模、調整後EBITDA160億円相当の収益ポテンシャルを有する事業ポートフォリオを構築

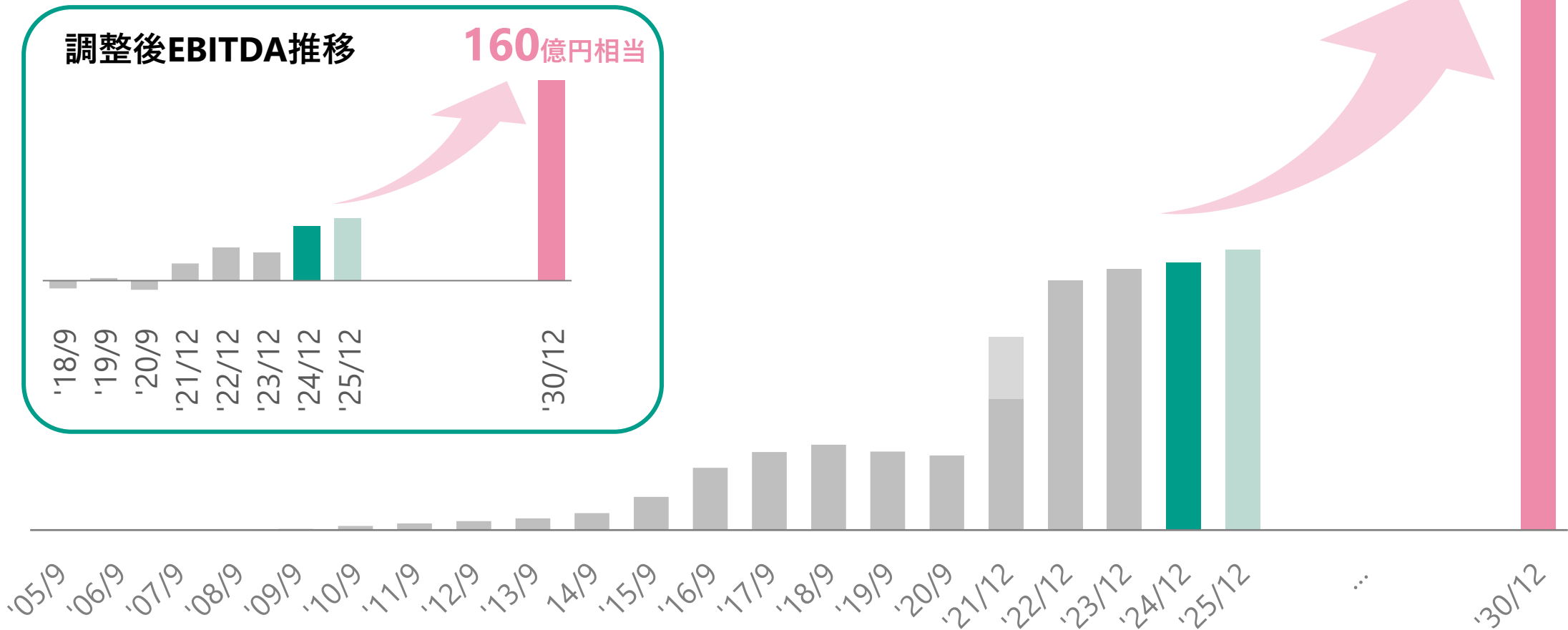


\*1: 商業プラントに対する当社出資比率を15%とした場合の収益ポテンシャル。合弁会社からの受取配当を原資とする税引前利益（資金調達費用を除く）イメージを調整後EBITDA相当と想定

# 2030年に向けた成長イメージ - 売上高と調整後EBITDA

売上高で1,000億円規模、調整後EBITDAで160億円相当の  
収益ポテンシャルを有する事業ポートフォリオ構築を目指す

売上高  
1,000億円規模



# 補足資料： 業績サマリー

# 会社概要



いきる、たのしむ、サステナブル。

創業	2005年8月9日
本店	東京都港区芝5-29-11
資本金	163億3,115万円（2024年12月末時点）
従業員数*1	1,168名（連結）（2024年12月末時点）
グループ会社	連結子会社16社（うち、キューサイ・グループ4社、 海外合弁会社1社）（2024年12月末時点）
フィロソフィー	Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）
パーパス	人と地球を健康にする
上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2931
株主数	118,596名（2024年12月末時点）

# 業績推移サマリー - 連結損益計算書 (2024年度)

(百万円)	2024/12期														
	連結合計					うちユーグレナ <sup>*1</sup>					うちキューサイ				
	1Q	2Q <sup>*4</sup>	3Q	4Q	合計	1Q	2Q <sup>*4</sup>	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
売上高 (新区分ベース)	11,154	12,495	11,624	12,345	47,619	4,770	6,225	5,406	5,800	22,201	6,384	6,269	6,218	6,546	25,418
直販	8,287	8,208	8,132	8,449	33,076	2,485	2,590	2,597	2,705	10,377	5,802	5,619	5,535	5,744	22,700
流通	854	915	949	1,150	3,868	271	264	301	370	1,206	583	651	649	780	2,662
OEM・原料・海外	327	1,930	1,793	1,802	5,852	327	1,930	1,762	1,785	5,804	0	0	31	17	48
その他	1,687	1,441	750	944	4,822	1,687	1,441	746	939	4,814	0	0	3	4	8
売上原価	3,130	4,085	3,401	3,735	14,351	2,002	2,945	2,270	2,477	9,694	1,128	1,140	1,131	1,258	4,657
売上総利益	8,024	8,410	8,223	8,610	33,268	2,768	3,280	3,136	3,323	12,507	5,256	5,130	5,087	5,288	20,761
粗利率	72%	67%	71%	70%	70%	58%	53%	58%	57%	56%	82%	82%	82%	81%	82%
(内 ヘルスケア事業)	76%	70%	74%	73%	73%	65%	56%	64%	64%	62%	82%	82%	82%	81%	82%
販売費及び一般管理費	7,722	8,512	8,264	8,470	32,967	3,198	4,050	3,691	3,520	14,459	4,523	4,461	4,573	4,950	18,508
販売費	4,967	5,161	4,927	5,211	20,266	1,761	2,013	1,771	1,803	7,348	3,206	3,148	3,156	3,408	12,918
(内 広告宣伝費)	2,596	2,771	2,657	2,802	10,825	983	1,130	933	916	3,962	1,613	1,640	1,724	1,885	6,863
人件費	1,141	1,445	1,500	1,561	5,646	651	951	888	899	3,389	491	494	611	661	2,257
管理費	1,433	1,682	1,624	1,472	6,211	621	880	846	640	2,987	812	802	777	832	3,224
研究開発費	181	224	213	225	844	166	207	185	177	735	15	17	28	48	109
営業損益	302	-102	-40	141	301	-431	-770	-555	-197	-1,953	733	668	514	338	2,253
調整後EBITDA <sup>*2</sup>	1,071	1,051	1,125	1,083	4,330	-191	-147	82	214	-42	1,262	1,198	1,043	869	4,372
営業外損益	-36	-3	-153	323	131	67	99	-71	399	494	-103	-102	-82	-76	-363
(内 助成金収入)	23	25	50	4	102	22	22	50	3	97	2	3	0	1	6
経常損益	266	-105	-193	464	432	-363	-671	-626	202	-1,459	630	567	432	262	1,891
特別損益	-482	-303	49	-1	-737	-482	-319	49	15	-737	0	16	0	-16	-0
親会社株主に帰属する当期純損益	192	-519	-722	398	-651	na	na	na	na	na	na	na	na	na	na
【参考指標】															
減価償却費 <sup>*3</sup>	490	777	770	574	2,610	105	393	385	187	1,071	384	384	385	386	1,539
(内 M&A関連)	360	611	610	439	2,019	48	299	298	127	773	312	312	312	312	1,246
のれん償却額	246	244	244	244	978	103	100	100	100	404	143	143	143	143	573

\*1: 連結PLからキューサイ・グループPL (キューサイ・グループとその他グループ間の連結相殺反映後) を控除した金額で、グループ会社PLを含む

\*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費) + 助成金収入 + 株式関連報酬 + 棚卸資産ステップアップ影響額

\*3: 調整後EBITDAの算出に使用した金額であり、連結キャッシュ・フロー計算書の数値とは異なる

\*4: サテリス製薬及び日本ビューテック連結化に伴い計上したのれんの識別可能資産 (顧客関連資産、受注残) への配分が2024/3Qに完了。2024/12期2Qは遡及修正後の数字に修正

# 業績推移サマリー - 連結損益計算書 (2023年度)

(百万円)	2023/12期														
	連結合計					うちユーグレナ <sup>*1</sup>					うちキューサイ				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
売上高 (新区分ベース)	10,837	11,968	11,275	12,403	46,483	4,611	5,603	5,002	5,935	21,152	6,226	6,365	6,273	6,467	25,331
直販	8,244	8,347	8,201	8,360	33,152	2,587	2,682	2,537	2,635	10,442	5,658	5,665	5,664	5,724	22,710
流通	891	987	953	1,173	4,004	322	287	344	430	1,383	568	700	609	743	2,620
OEM・原料・海外	239	310	353	523	1,425	239	310	353	523	1,425	0	0	0	0	0
その他	1,463	2,324	1,767	2,347	7,902	1,463	2,324	1,767	2,347	7,901	0	0	0	0	1
売上原価	2,996	4,028	3,558	4,126	14,708	1,827	2,739	2,318	2,905	9,789	1,169	1,289	1,240	1,222	4,919
売上総利益	7,841	7,940	7,717	8,276	31,775	2,784	2,864	2,684	3,031	11,363	5,057	5,076	5,033	5,246	20,412
粗利率	72%	66%	68%	67%	68%	60%	51%	54%	51%	54%	81%	80%	80%	81%	81%
(内 ヘルスケア事業)	76%	74%	76%	74%	75%	69%	65%	69%	64%	67%	81%	80%	80%	81%	81%
販売費及び一般管理費	8,017	8,524	7,916	8,782	33,239	3,403	3,614	3,233	3,657	13,907	4,615	4,910	4,683	5,124	19,332
販売費	5,157	5,362	4,966	5,485	20,970	1,808	1,984	1,679	1,864	7,334	3,349	3,378	3,287	3,621	13,636
(内 広告宣伝費)	2,669	2,789	2,561	2,951	10,970	978	1,026	880	1,005	3,889	1,690	1,763	1,682	1,946	7,082
人件費	1,176	1,249	1,341	1,505	5,271	710	743	724	844	3,021	466	506	617	661	2,250
管理費	1,397	1,610	1,321	1,429	5,756	604	590	558	605	2,357	792	1,021	763	824	3,399
研究開発費	288	303	288	363	1,242	281	297	272	344	1,195	7	6	16	19	47
営業損益	-176	-584	-199	-505	-1,465	-619	-750	-549	-627	-2,544	442	166	350	122	1,080
調整後EBITDA <sup>*2</sup>	777	495	708	243	2,222	-214	-411	-168	-414	-1,207	991	906	876	657	3,429
営業外損益	65	56	41	-117	45	179	162	184	-14	511	-114	-107	-143	-103	-466
(内 助成金収入)	189	115	137	33	474	187	111	136	31	465	2	3	2	2	9
経常損益	-111	-529	-158	-622	-1,420	-439	-588	-365	-641	-2,033	328	60	207	19	614
特別損益	30	-9	-3	-709	-691	30	-6	-1	-698	-675	0	-3	-3	-11	-16
親会社株主に帰属する当期純損益	-168	-746	-350	-1,389	-2,653	na	na	na	na	na	na	na	na	na	na
【参考指標】															
減価償却費 <sup>*3</sup>	524	723	504	358	2,109	121	130	123	-32	342	403	593	381	390	1,767
(内 M&A関連)	365	360	360	360	1,444	54	48	48	48	198	312	312	312	312	1,246
のれん償却額	212	212	212	212	847	68	68	68	68	273	143	143	143	143	573

\*1: 連結PLからキューサイ・グループPL (キューサイ・グループとその他グループ間の連結相殺反映後) を控除した金額で、グループ会社PLを含む

\*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費) + 助成金収入 + 株式関連報酬 + 棚卸資産ステップアップ影響額

\*3: 調整後EBITDAの算出に使用した金額であり、連結キャッシュ・フロー計算書の数値とは異なる

# 業績推移サマリー - セグメント別PL

事業セグメント別内訳										
(百万円)	2023/12期					2024/12期				
	'23Q1	'23Q2	'23Q3	'23Q4	合計	'24Q1	'24Q2	'24Q3	'24Q4	合計
<b>連結合計</b>										
売上高	10,837	11,968	11,275	12,403	<b>46,483</b>	11,154	12,495	11,624	12,345	<b>47,619</b>
増減率	-10%	10%	-6%	10%	<b>5%</b>	-10%	12%	-7%	6%	<b>2%</b>
売上総利益	7,841	7,940	7,717	8,276	<b>31,775</b>	8,024	8,410	8,223	8,610	<b>33,268</b>
対売上高比率	72%	66%	68%	67%	<b>68%</b>	72%	67%	71%	70%	<b>70%</b>
調整後EBITDA	777	495	708	243	<b>2,222</b>	1,071	1,051	1,125	1,083	<b>4,330</b>
対売上高比率	7%	4%	6%	2%	<b>5%</b>	10%	8%	10%	9%	<b>9%</b>
<b>ヘルスケア事業</b>										
売上高	10,026	10,485	9,992	10,856	<b>41,359</b>	10,304	11,726	10,894	11,423	<b>44,348</b>
増減率	-11%	5%	-5%	9%	<b>-1%</b>	-5%	14%	-7%	5%	<b>7%</b>
売上総利益	7,663	7,743	7,600	8,066	<b>31,072</b>	7,813	8,203	8,103	8,390	<b>32,508</b>
対売上高比率	76%	74%	76%	74%	<b>75%</b>	76%	70%	74%	73%	<b>73%</b>
調整後EBITDA	1,301	1,067	1,261	943	<b>4,572</b>	1,642	1,609	1,732	1,584	<b>6,568</b>
対売上高比率	13%	10%	13%	9%	<b>11%</b>	16%	14%	16%	14%	<b>15%</b>
<b>バイオ燃料事業</b>										
売上高	52	849	869	1,081	<b>2,852</b>	118	188	306	322	<b>934</b>
増減率	-44%	1530%	2%	24%	<b>986%</b>	-89%	59%	63%	5%	<b>-67%</b>
売上総利益	-1	34	22	80	<b>135</b>	19	41	58	50	<b>167</b>
対売上高比率	-2%	4%	3%	7%	<b>5%</b>	16%	22%	19%	15%	<b>18%</b>
調整後EBITDA	-147	-142	-85	-310	<b>-684</b>	-124	-122	-89	-89	<b>-425</b>
助成金収入	79	57	97	0	<b>233</b>	0	0	0	0	<b>0</b>
<b>その他事業</b>										
売上高	759	634	415	467	<b>2,274</b>	732	581	429	606	<b>2,348</b>
増減率	12%	-17%	-35%	13%	<b>-10%</b>	57%	-21%	-26%	41%	<b>3%</b>
売上総利益	180	163	95	132	<b>569</b>	192	165	64	172	<b>592</b>
対売上高比率	24%	26%	23%	28%	<b>25%</b>	26%	28%	15%	28%	<b>25%</b>
調整後EBITDA	28	-41	-113	-95	<b>-222</b>	-65	-100	-166	-85	<b>-415</b>
対売上高比率	4%	-6%	-27%	-20%	<b>-10%</b>	-9%	-17%	-39%	-14%	<b>-18%</b>
<b>全社</b>										
売上高	0	0	-0	-2	<b>-2</b>	0	-0	-5	-6	<b>-11</b>
売上総利益	0	0	-0	-2	<b>-2</b>	0	1	-1	-1	<b>-0</b>
調整後EBITDA	-404	-389	-356	-296	<b>-1,444</b>	-382	-337	-352	-327	<b>-1,398</b>

ヘルスケア事業内訳										
(百万円)	2023/12期					2024/12期				
	'23Q1	'23Q2	'23Q3	'23Q4	合計	'24Q1	'24Q2	'24Q3	'24Q4	合計
<b>ユーグレナ・ヘルスケア<sup>*1</sup></b>										
売上高	1,883	2,014	1,954	2,232	<b>8,083</b>	2,005	2,082	2,067	2,458	<b>8,613</b>
売上総利益	1,425	1,442	1,427	1,505	<b>5,799</b>	1,490	1,479	1,504	1,755	<b>6,228</b>
対売上高比率	76%	72%	73%	67%	<b>72%</b>	74%	71%	73%	71%	<b>72%</b>
調整後EBITDA	173	66	206	-19	<b>428</b>	251	28	224	368	<b>871</b>
対売上高比率	9%	3%	11%	-1%	<b>5%</b>	13%	1%	11%	15%	<b>10%</b>
<b>エボラ</b>										
売上高	951	901	932	1,023	<b>3,807</b>	869	847	881	943	<b>3,540</b>
売上総利益	738	722	718	785	<b>2,963</b>	673	670	676	712	<b>2,732</b>
対売上高比率	78%	80%	77%	77%	<b>78%</b>	77%	79%	77%	75%	<b>77%</b>
調整後EBITDA	4	-17	90	91	<b>168</b>	36	42	75	110	<b>262</b>
対売上高比率	0%	-2%	10%	9%	<b>4%</b>	4%	5%	9%	12%	<b>7%</b>
<b>MEJ</b>										
売上高	393	444	413	445	<b>1,695</b>	302	284	276	253	<b>1,114</b>
売上総利益	325	347	319	362	<b>1,354</b>	216	243	224	208	<b>891</b>
対売上高比率	83%	78%	77%	81%	<b>80%</b>	72%	86%	81%	82%	<b>80%</b>
調整後EBITDA	71	25	36	117	<b>249</b>	-7	14	72	50	<b>129</b>
対売上高比率	18%	6%	9%	26%	<b>15%</b>	-2%	5%	26%	20%	<b>12%</b>
<b>キューサイ・グループ<sup>*2</sup></b>										
売上高	6,264	6,408	6,309	6,508	<b>25,489</b>	6,428	6,319	6,257	6,591	<b>25,596</b>
売上総利益	5,095	5,120	5,069	5,286	<b>20,570</b>	5,300	5,180	5,121	5,329	<b>20,930</b>
対売上高比率	81%	80%	80%	81%	<b>81%</b>	82%	82%	82%	81%	<b>82%</b>
調整後EBITDA	1,028	949	911	697	<b>3,586</b>	1,305	1,248	1,077	910	<b>4,541</b>
対売上高比率	16%	15%	14%	11%	<b>14%</b>	20%	20%	17%	14%	<b>18%</b>
<b>サティス製薬・グループ<sup>*3</sup></b>										
売上高	-	-	-	-	-	13	1,659	1,567	1,310	<b>4,548</b>
調整後EBITDA	-	-	-	-	-	-5	222	305	149	<b>672</b>
対売上高比率	-	-	-	-	-	-39%	13%	19%	11%	<b>15%</b>
<b>事業内共通・相殺、はこ社<sup>*4</sup></b>										
売上高	536	717	383	648	<b>2,285</b>	686	535	-153	-132	<b>937</b>
調整後EBITDA	25	44	18	57	<b>142</b>	62	55	-20	-3	<b>93</b>

\*1: ユーグレナ社のヘルスケア事業及びグループ会社のLIGUNA（2024年3Q以降はユーグレナ社に吸収合併）、八重山殖産、上海ユーグレナ（2024年1Q清算）の合計

\*2: Q-Partners、キューサイ、キューサイプロダクツ、キューサイファーム島根、CQベンチャーズ（2024年1月吸収合併により消滅）の合計。内部取引相殺を区分したため、前頁数値と相違あり

\*3: サティス製薬、日本ビューテック、ナユタの3社。サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化、ナユタは2024/2末をみなし取得日として連結化

\*4: ヘルスケア事業全体の共通費、各ヘルスケア事業内グループ間の連結相殺、はこ社（2024/6末全株式譲渡）の合計

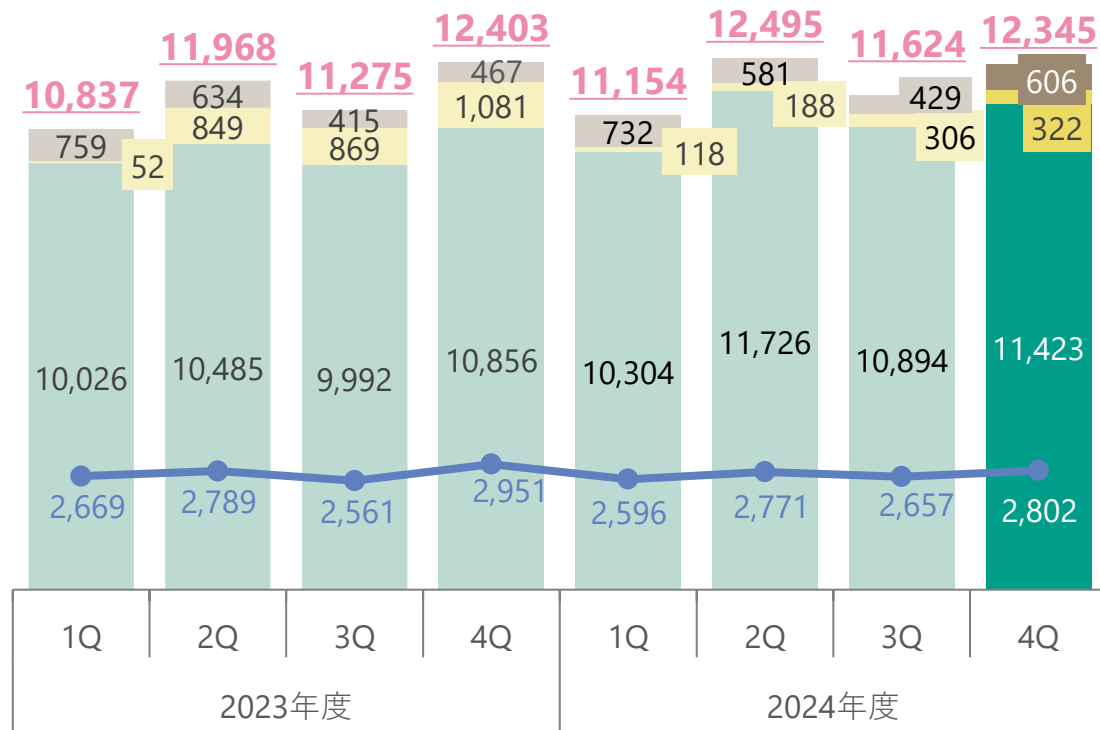


# 2024年度業績 - 四半期売上高/調整後EBITDAの推移

2024年度は大口取引の未実行でバイオ燃料の売上が減少するも、サティス製薬連結寄与でヘルスケアの売上が増加。調整後EBITDAは、ヘルスケアの収益性改善により大幅増

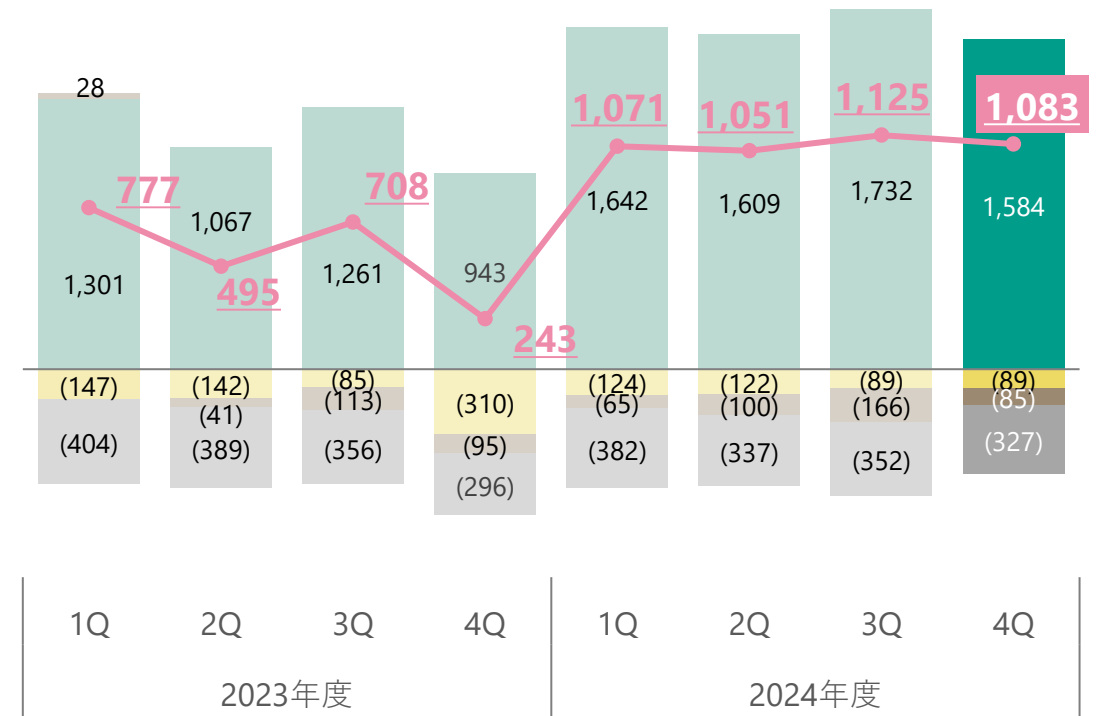
## 売上高\*1

■ヘルスケア事業 ■その他事業  
■バイオ燃料事業 ●広告宣伝費\*2



## 調整後EBITDA

■ヘルスケア事業 ■その他事業 ●調整後EBITDA合計  
■バイオ燃料事業 ■全社費用



\*1: 売上推移グラフに全社売上（セグメント間取引消去の際に発生）を記載していないため、“各セグメントを合算した値”と“合計値”が一致しない場合がある

\*2: 売上推移グラフの広告宣伝費に販促費は含まれていない

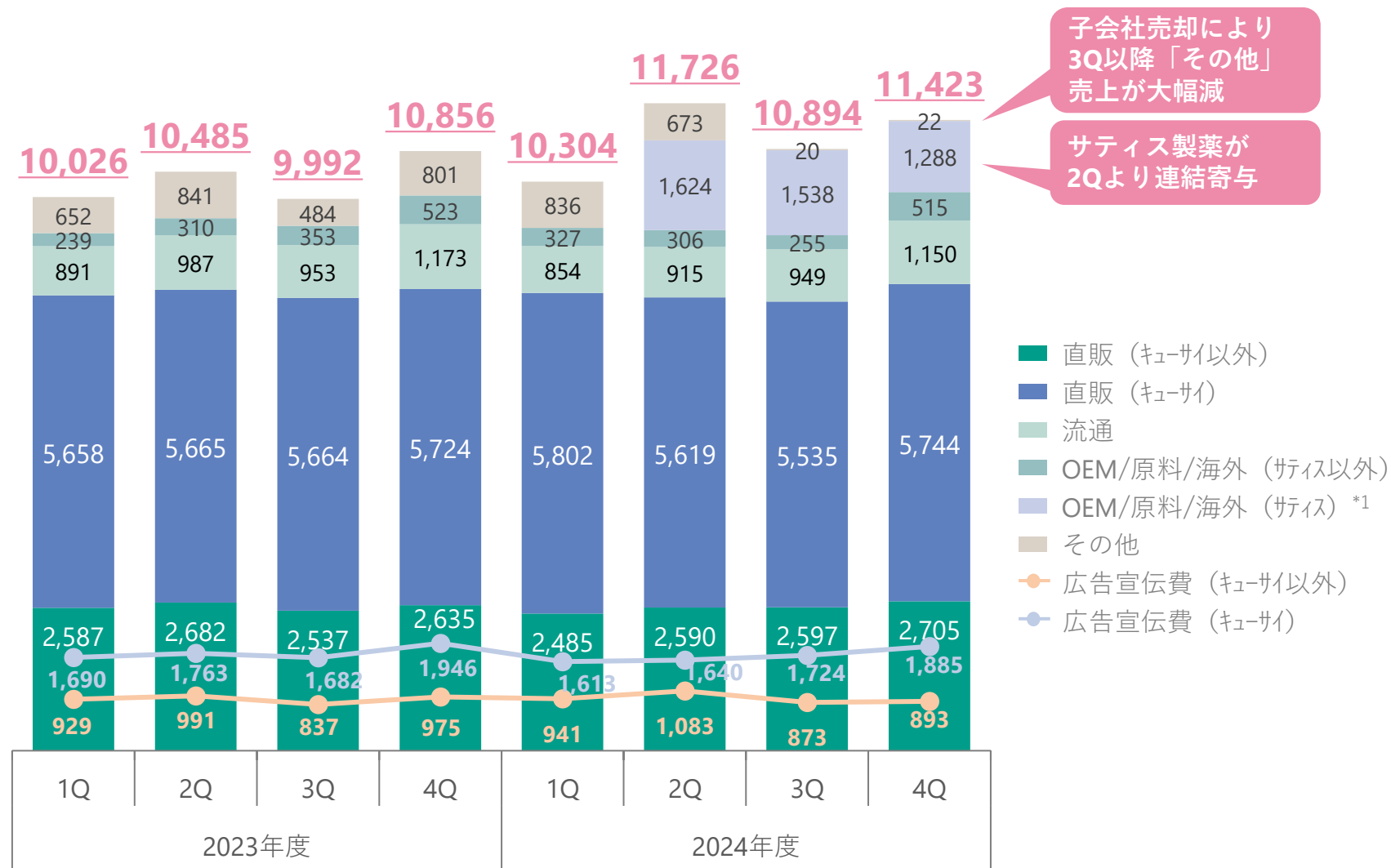
注: 単位は百万円

# 2024年度業績 - ヘルスケア事業売上高の推移

直販・流通は概ね横ばいで推移

OEM他は2024年2Qよりサティス製薬の連結寄与で大幅増

その他売上は子会社売却で3Q以降大幅減



- 直販 (キューサイ以外)
- 直販 (キューサイ)
- 流通
- OEM/原料/海外 (サティス以外)
- OEM/原料/海外 (サティス) \*1
- その他
- 広告宣伝費 (キューサイ以外)
- 広告宣伝費 (キューサイ)

子会社売却により3Q以降「その他」売上が大幅減

サティス製薬が2Qより連結寄与

# 業績推移サマリー - 連結貸借対照表

サティス製薬G  
連結化\*1

サティス製薬Gの  
取得原価の配分完了

(百万円)	2022/12末	2023/3末	2023/6末	2023/9末	2023/12末	2024/3末*2	2024/6末*2	2024/9末	2024/12末
<b>流動資産</b>	<b>19,694</b>	<b>26,225</b>	<b>24,560</b>	<b>24,791</b>	<b>24,431</b>	<b>29,438</b>	<b>29,196</b>	<b>29,408</b>	<b>30,865</b>
現金及び預金	9,954	16,819	16,299	15,698	15,792	18,855	19,091	19,806	20,631
棚卸資産	4,623	4,677	4,193	4,148	3,685	4,360	4,364	4,033	3,661
その他	5,117	4,729	4,069	4,944	4,954	6,223	5,741	5,570	6,573
<b>固定資産</b>	<b>37,581</b>	<b>37,049</b>	<b>36,257</b>	<b>35,664</b>	<b>35,188</b>	<b>44,279</b>	<b>43,494</b>	<b>42,180</b>	<b>42,391</b>
有形固定資産	5,848	5,795	5,771	5,687	5,507	6,971	6,681	6,185	6,048
無形固定資産	30,023	29,489	28,771	28,284	27,764	35,879	35,085	34,243	33,565
（内 のれん）	12,486	12,274	12,062	11,851	11,639	12,963	12,719	12,475	12,231
（内 顧客関連資産）	16,174	15,825	15,482	15,139	14,796	21,237	20,816	20,396	19,976
投資その他の資産	1,710	1,765	1,715	1,693	1,917	1,429	1,729	1,752	2,778
<b>総資産</b>	<b>57,276</b>	<b>63,274</b>	<b>60,817</b>	<b>60,455</b>	<b>59,619</b>	<b>73,717</b>	<b>72,690</b>	<b>71,588</b>	<b>73,256</b>
<b>負債</b>	<b>37,922</b>	<b>40,808</b>	<b>39,082</b>	<b>39,011</b>	<b>39,405</b>	<b>42,819</b>	<b>41,422</b>	<b>40,835</b>	<b>41,143</b>
流動負債	12,277	10,787	10,275	10,338	12,271	13,038	12,278	12,152	12,812
（内 短期借入金）	2,709	2,732	2,509	2,973	3,294	4,558	4,403	4,360	4,145
固定負債	25,645	30,021	28,807	28,672	27,133	29,782	29,143	28,683	28,331
（内 長期借入金）	19,497	19,247	18,120	18,101	16,972	18,090	16,688	16,033	15,964
（内 繰延税金負債）	5,330	5,159	5,071	4,955	4,857	6,230	6,037	6,230	5,944
（内 社債）	-	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	5,800	5,800	5,800
<b>純資産</b>	<b>19,354</b>	<b>22,466</b>	<b>21,736</b>	<b>21,444</b>	<b>20,215</b>	<b>30,898</b>	<b>31,269</b>	<b>30,753</b>	<b>32,113</b>
株主資本	18,958	22,456	21,736	21,459	20,070	30,826	31,183	30,469	30,918
（内 資本金）	13,985	15,818	15,831	15,868	15,868	15,868	16,306	16,306	16,331
（内 資本剰余金）	13,316	15,149	15,162	15,199	15,199	16,419	16,857	16,857	16,882
（内 利益剰余金）	(8,309)	(8,477)	(9,223)	(9,573)	(10,962)	(1,426)	(1,945)	(2,659)	(2,261)
その他	396	10	(0)	(15)	144	72	86	284	1,195
<b>負債・純資産合計</b>	<b>57,276</b>	<b>63,274</b>	<b>60,817</b>	<b>60,455</b>	<b>59,619</b>	<b>73,717</b>	<b>72,690</b>	<b>71,588</b>	<b>73,256</b>

\*1: サティス製薬、日本ビューテック、ナユタの3社。サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化、ナユタは2024/2末をみなし取得日として連結化  
2024/3末時点のBSでは、サティス製薬グループの連結に伴うのれん6,914百万円を暫定金額で計上。3Qに取得原価の配分が完了し、のれんの金額を1,899百万円に修正

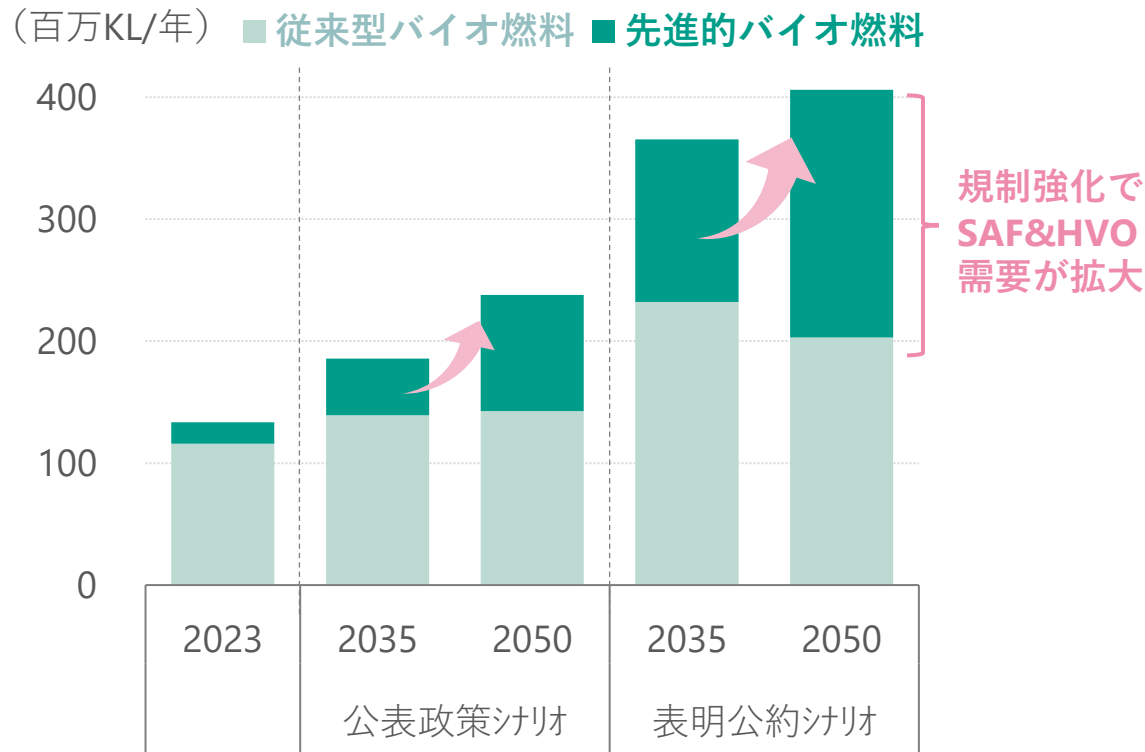
\*2: サティス製薬及び日本ビューテック連結化に伴い計上したのれんの識別可能資産（顧客関連資産、受注残）への配分が2024/3Qに完了。2024/3末及び2024/6末は遡及修正後の数字に修正

# 補足資料： バイオ燃料事業

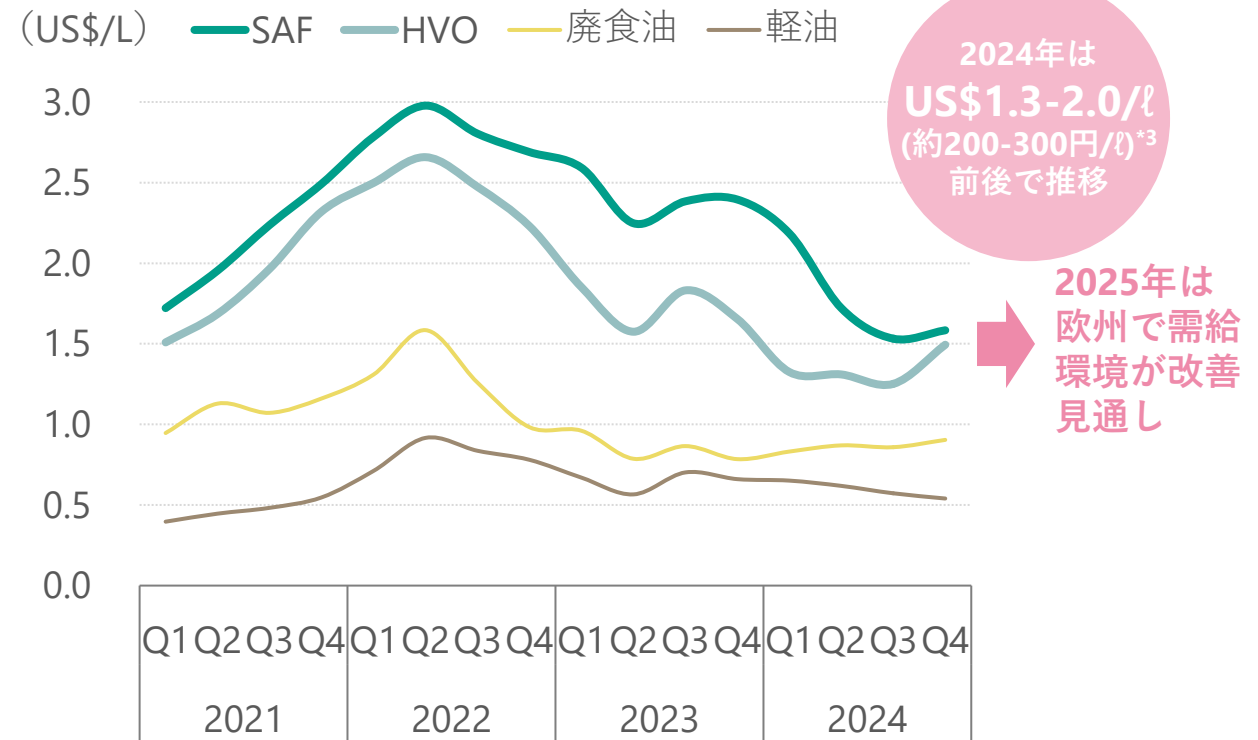
# 業界動向 - バイオ燃料市場の動向

導入義務やインセンティブの強化により、バイオ燃料需要は飛躍的に拡大  
供給過多や米国政策動向で短期的には軟調に推移するも、中期的には需給環境改善による反転を見込む

世界のバイオ燃料需要の見込み\*1,2



バイオ燃料価格 (欧州) \*3



\*1: IEA "World Energy Outlook 2024" (2024)データを基に当社で作成

\*2: 「従来型」 = 農作物由来の第一世代バイオ燃料、「先進的」 = 廃棄物や非可食植物など食糧生産と競合しない持続可能な原料で製造されたバイオ燃料

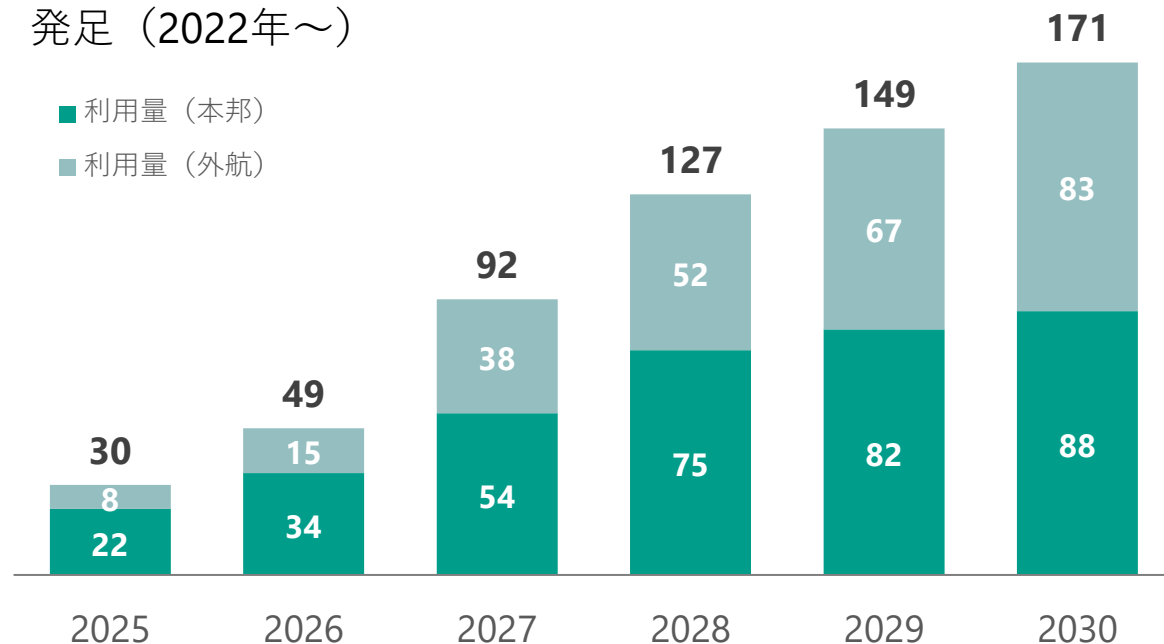
\*3: Argus社データを基に当社で作成した参考値で、実際の価格は地域や取引条件によって異なる。比重は燃料0.8g/cm<sup>3</sup>・廃食油0.9g/cm<sup>3</sup>、\$1=150円で試算

# 業界動向 - バイオ燃料普及に向けた国内の動き

## 日本国内でも脱炭素やバイオ燃料導入に向けた動きが加速

### 日本のSAF需要見通し\*1

- 経済産業省は、2030年に国内で生産・供給されたジェット燃料のCO2排出量2019年比5%以上削減を石油元売り企業に義務付ける方針を提示
- 持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた官民協議会発足（2022年～）



### 脱炭素に向けた国内方針

- 2050年カーボンニュートラル宣言
- 2030年に2013年比46%までGHG排出量を削減
- 2026年にGX-ETS（排出権取引制度）開始
- 2028年に炭素税導入に向けた議論が継続

